

事業概要：「若者に選ばれる」畜産産地の実現で地域を活性化するプロジェクト

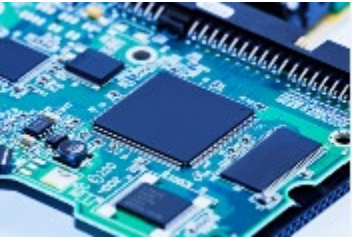
旧制度（推進）

申請者	長崎県ほか 5 自治体※	初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	873,446千円 (142,504千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・新規就農者をはじめとした担い手の確保や定着支援 ・新たな技術を取り入れたデジタル技術（ICT・スマート畜産）の推進 ・消費者ニーズに対応した品質向上（家畜の育種改良・能力の高い家畜への転換等） ・農家の経営管理能力の向上 ・輸出による販路拡大と県内の新たな観光資源（新幹線、IR）を活用した流通販売対策の強化		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 畜産業における高齢化や後継者不足による生産基盤の弱体化といった課題に対応し、若者に選ばれる産業とするため、移住施策と連携した担い手確保や初期投資・無収入期間への支援、ICT・スマート畜産の導入による生産性向上と労働環境改善を進めるとともに、高能力家畜やゲノム技術の活用による高品質生産と、輸出拡大や交流人口増加を見据えた販路多角化を推進し、魅力ある畜産経営の確立と地域活性化を図るものである。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○人材の呼び込み・デジタル化支援による担い手確保対策 ・人材の呼び込み（移住政策との連携）(13,554千円) ・次代を支える担い手の確保・育成対策（7,204千円） ・労力支援・経営外部化推進（3,650千円） ○マーケットニーズに対応した畜産物生産対策 ・マーケットニーズに対応した品質向上対策(54,718千円) ・農家の生産技術・経営管理能力の高位平準化支援(1,225千円) ○流通チャネルの多元化による販売体制強化対策 ・長崎和牛の輸出拡大等による販路拡大(10,000千円) ・好機（新幹線・I R）を捉えた新たな需要創出の支援(10,000千円)		
KPI	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値		
	①新規就農者数(畜産部門) (+240人) ②農業所得1,000万円畜産経営体数 (+187人) ③長崎和牛輸出額 (+221百万円)		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		
	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html		

※長崎県、佐世保市、大村市、五島市、雲仙市、南島原市の広域連携事業

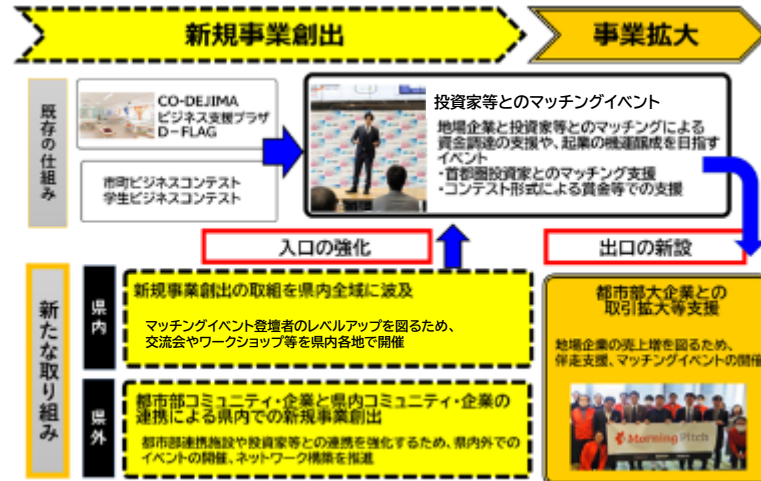
事業概要：半導体及び航空機関連産業を中心としたグリーン成長産業振興プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	長崎県	初回採択回	令和４年度第２回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,626,246千円 (222,728千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・地場中小企業の「グリーン成長分野」への進出や規模拡大への支援により、脱炭素化対応サプライチェーン構築を促進し、企業の誘致につなげる。 ・企業のニーズに対応した持続的な人材確保体制を構築し、大手メーカーの本県における事業拡大や新たな立地を推進する。 ・造船で培った技術力と人材を活かした新たな基幹産業創出・育成により、産業構造の転換を図り、良質な雇用創出を促進する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 グリーン成長分野や航空機・半導体分野等に取り組む県内製造業企業のサプライチェーンの拡大・強化等に向けた設備投資やD X推進等の取組に支援するとともに、大学等との連携により持続的に県内の産業を支える人材の育成・確保を図る。		 
	【R8年度事業 経費内訳】 ・脱炭素化への取組を通じたグリーン成長分野への進出や規模拡大を図る県内製造業企業を支援（補助金）52,000千円 ・半導体関連企業からの受注体制を構築するため、県内製造業企業が行う設備投資や技術力向上等に向けたグループの取組を支援（補助金）30,000千円 ・航空機産業の集積を図るため、県内製造業企業の販路開拓や人材育成・確保・新規参入を支援（委託料）5,000千円		 
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①工業統計における電子部品・デバイス・電子回路製造業・半導体製造装置製造業の製造品出荷額（+3,480億円） ②航空機産業および半導体産業への新規参入企業数および拡大企業数（+143社） ③工業統計における電子部品・デバイス・電子回路製造業・半導体製造装置製造業の従業員数（+1,991人） ④高等学校専門学科（工業等）の就職内定者に占める県内の割合（+9.8%）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

事業概要：上場企業輩出ステップアップ事業

旧制度（推進）

申請者	長崎県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	301,245千円 (86,835千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	本県における人材のアドバンテージを活かし地方創生を実現するためには、地域に魅力ある良質な雇用の場を創出することが極めて重要である。若者は企業選択において「安定している」ことに重きを置いていることから、地域の企業が発展することで、首都圏の企業と比べても遜色のない魅力的な雇用の場が創出され、県内で育てた優秀な人材や県外の大学で学んだ人材の県内就職が実現することにより、若者が県内に定着して経済が循環する姿を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内における次世代のキーマンやコミュニティの育成支援等による新規事業創出に向けた機運醸成を図る。また、地場中小企業等における技術力や専門性を活かした事業拡大や新規事業への進出を、補助金やマッチング機会の提供により支援し、上場企業の輩出へ繋げる。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○県内における次世代のキーマンやコミュニティの育成支援のためのイベントや勉強会の開催、事業成長支援 (委託料)12,975千円 ○技術開発・事業化調査・商品開発等を行う地場企業の支援 (補助金)16,900千円 ○地場企業と首都圏大企業のマッチングイベントの開催 (委託料) 8,700千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+3,000人） ②上場企業の輩出数（+1件） ③本事業の支援による法人の新設件数（+24件） ④上場に向けたゼミナールの受講者数（+30社）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/ page-582970.html

申請者	長崎県、五島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	217,321千円 (66,701千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、デジタルノマドから長崎県がワーケーション実践地として選ばれることで、地方への賑わいを創出し、将来的には移住先としても国内外から選ばれる地域となることを目指すために、長崎県ならではの魅力を国内外へ発信するほか、デジタルノマド受入のための人的環境整備を行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタルノマドとして生活しているインフルエンサー等を招致して長崎をPRしてもらうモニターツアーを実施し、ウェブ・SNS等を活用して、長崎県の魅力を国内外に情報発信する。 デジタルノマドの受入支援を行うハブ人材の育成を図りつつ、地域の宿泊事業者やコワーキングスペースの運営者等の連携を強化するためセミナーを開催し、受入基盤づくりを推進する。					 ＜デジタルノマドと地域との交流会＞	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・デジタルノマド誘客モニターツアー（委託料）9,564千円 ・ウェブ・SNS等によるプロモーション（委託料）40,493千円 ・ハブ人材（コミュニティマネージャー）の育成（委託料）8,149千円 ・相談窓口の運営（人件費）3,856千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+285人） ②県が関係して誘致したデジタルノマドの人数（+120人） ③ブロックごとのハブ人材育成数（+9人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

< デジタルノマドと地域との交流会 >

事業概要：「聖地の創出」をキーワードとした魅力発信・交流人口拡大プロジェクト

継続

申請者	長崎県ほか 2 自治体					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	698,246千円 (263,892千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	長崎県の多様な観光資源や文化資源等を活かし、様々な魅力あるコンテンツを磨き上げ、聖地の創出を推進することにより、交流人口の拡大及び観光消費額の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県の多様な観光資源を磨き上げ、聖地の創出を推進するため、本県を舞台とする作品の制作を支援するほか、「ツール・ド・九州」の開催を契機としたサイクルツーリズムの推進に取り組む。また、令和7年度に本県で開催した「ながさきピース文化祭2025」を契機とした文化芸術による地域内外の交流促進につながる活動を支援する。加えて、世界遺産の情報発信による聖地の創出に向け、デジタルアーカイブの構築・改修、広報等を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○アニメ・小説、文化芸術等による聖地の創出に向けた取組経費 ・ロケ誘致及び創作活動支援等（補助金等） 77,970千円 ・文化芸術イベントの開催や活動に対する支援（補助金等） 49,152千円 ・Youtube等を活用した長崎県産酒の魅力発信（委託料） 21,635千円 ○世界遺産の情報発信による聖地の創出に向けた取組経費 ・デジタルアーカイブ構築等（委託料） 26,423千円 ○ツール・ド・九州開催を契機とした取組経費 ・ツール・ド・九州賑わい創出イベント開催等（委託料） 48,955千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額 （+319億円） ②本事業の取組により本県へ行きたいと思った人の割合 （+80%） ③海外キリスト教巡礼団の訪問者数 （+3,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

※長崎県、佐世保市、時津町の広域連携事業

事業概要：外国人材受入・定着推進事業

継続

申請者	長崎県ほか 2 自治体					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	145,554千円 (44,892千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・ 地域産業を支える担い手確保に向けて、市町や関係団体等と連携した外国人材の受入れと定着を促進し、国内外の外国人材に選ばれる長崎県づくりを進める。 ・ 本県の経済・産業や地域社会の持続的な発展を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域産業を支える担い手確保に向けて、県内事業所での外国人材の受入れを促進するとともに、外国人材が長崎県を選び、その後も定着し続けるための取組を進めることにより、将来的に安定した人材の確保を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○外国人材受入促進事業 ・外国人材受入れに関する総合相談対応窓口（委託費：14,974千円） ・外国人材受入・定着促進補助金（補助金：4,500千円） ・留学生就職・定着支援経費（委託費：1,200千円） ・企業交流会（委託費等：5, 580千円） ・IT人材の採用支援・マッチング経費（委託費：5,672千円） ・日本語教育補助金（補助金:2,000千円） ○定着を図るための環境整備事業 ・企業と小中学校の交流など地域との連携モデルの実践研究（委託費：2,000千円）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内外国人労働者数（+5,504人） ②本事業の実施による外国人材の受入成立数（+118人） ③県内留学生の県内就職者数（+45人） ④地域理解を深めるホームページの閲覧数（+131,000回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

※長崎県、佐世保市、雲仙市の広域連携事業

申請者	長崎県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,533千円 (25,118千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・気候変動による影響に対応していくための品種や技術等について、調査・開発・実証・普及を一貫して行い、各産地に安定した生産・出荷体制を早急に構築し、気候変動に強い産地づくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 各産地において農作業環境の改善や対策を検討し、災害に強い産地づくりを進めるとともに、気候変動に対応した品種や技術等について、園芸・農産・畜産の各分野を網羅した調査・開発・実証・導入までの一貫した取組を行い、気候変動に対応する先進技術の導入や生産基盤の強化を図ることで、産地内に安定した生産・出荷体制を構築し、生産性の高い産地の育成並びに本県農業の持続を可能とする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○生産性の高い産地づくり推進、安定生産・省力化に対応する技術等の調査・研究・実証 ・生産性の高い産地の構築支援（資料印刷費等）817千円 ・先進事例調査（外部講師謝金等）174千円 ・品種・技術の研究・開発（供試資材、燃料費等）10,175千円 ・品種・技術の現地実証（協力農家謝金等）1,664千円 ・産地主体による気候変動対策技術の現地実証（資材費等）900千円 ○生産基盤整備・先進技術の導入支援 ・気候変動に対応した対策技術の導入（資機材導入支援）11,388千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+18億円） ②気候変動対策取組産地数（+52産地） ③気候変動対策に係る技術確立数（+5技術）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

事業概要：セキュリティ・デジタルビジネス創出プロジェクト

継続

申請者	長崎県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	320,000千円 (100,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- サイバーセキュリティ分野を中心に、AI活用等の新たな価値を生む技術などを的確に捉えてビジネス化し、新たな領域や県外市場にも積極的に進出する中核企業の形成を図る。 - 情報関連企業が提案型のソリューション企業に成長することで、地域企業のデジタル化支援も県内の民間主体で進むようになり、地域における課題が解決し、経済活性化へのサイクルを形成。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 - 市場が拡大しているサイバーセキュリティ分野への、県内情報関連企業の参入や事業化・事業拡大の取組を後押しする。 - 県内情報関連企業と都市部セキュリティ企業や県外企業との連携による、新事業展開や県外需要獲得の取組を支援。 - 産業支援機関等との連携により、県内事業者が安心して積極的にデジタル化に取り組むことができるよう業態に適したデジタル活用・実践をサポートする。 - サイバーセキュリティにおける海外連携を具体化し、大学・企業など地域の強みを産学官連携により推進する専門家を配置。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○県内情報関連企業のセキュリティ診断サービス提供モデル構築支援 セキュリティ診断サービスの事業化や、診断により浮き彫りとなったセキュリティ上の脆弱性への対策として、様々なセキュリティ製品やソリューションを提案・提供するビジネスモデルの構築を支援（委託料）25,000千円 ○企業間連携による県内情報関連企業の事業拡大や県外需要獲得に向けた取組への補助（補助金）25,000千円 ○県内中小企業のデジタル化等の推進支援による付加価値向上サポート支援（委託料）40,000千円 ○海外大学等との連携による大学の機能強化（交付金）10,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+2,450人） ②サイバーセキュリティ分野に進出した県内企業数（+10社） ③新たなデジタル化に取り組んだ県内企業の数（+1,300社） ④県内の情報関連産業における売上高（+382億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

事業概要：水素を中心とした次世代成長産業のサプライチェーン構築・事業拡大プロジェクト

継続

申請者	長崎県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	365,038千円 (108,218千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域資源である県内の再生可能エネルギーからグリーン水素を製造・運搬し、県内の様々な分野に活用することで地域経済の活性化を図る。 ・水素をはじめ、浮体式洋上風力発電など次世代成長産業が新たな基幹産業となり、良質な雇用の受け皿となることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 水素や浮体式洋上風力など次世代成長産業のサプライチェーンの構築を実現し、脱炭素化と地域経済の活性化を図る。 このため、国内外の市場動向を踏まえた商用化への取組を促進し、新たな成長産業に関する受注獲得に向けたマッチングや、受注に必要な先行投資への支援を行うことで、県内サプライチェーンの構築による地域経済の活性化と雇用拡大を図っていく。					参入促進 ○ 市場調査・分析 サプライチェーン構築・事業拡大 ○ コーディネーターによる伴走支援 ○ 補助金による設備等先行投資支援 ○ 人材確保に係る取組支援	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○商用事業化支援事業【17,650千円（補助）】 脱炭素ビジネスに関する県内企業の商用化に向けた取組を支援 ○次世代成長産業進出促進事業【63,000千円（補助）】 水素関連産業または浮体式洋上風力発電産業における新規受注獲得や販路拡大に向けた先行投資（設備導入、認証取得、人材育成等）を支援 ○受注体制強化支援事業【27,568千円】 次世代成長産業のサプライチェーン構築に取り組む県内企業に対し、求職者等とのマッチング機会の創出など、人材確保を支援					ゼロエミッション船の開発  (出展：商船三井HP) 浮体構造部材の量産  (出展：浮体式洋上風力発電懇談会HP)	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+59人） ②次世代成長産業の売上高（+83億円） ③水素関連産業のプロジェクト件数（+3件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

繼續

申請者	長崎県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,576,084千円 (546,976千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	- 料理としても誇れる「食」を県内各地で提供する環境(場や機運)を整備し、長崎県に人を呼び込み、県内外の人が長崎の豊かな食を楽しむことができる「食の賑わい創出」を図る。 - 美味しくて多様な長崎の食材が、その価値と共に国内外に届けられるよう、仕組みづくりを図るとともに、国内外において本県が誇る新鮮な農水産物や加工品、料理、酒等、食の魅力を発信することで、需要を創出する。 - 食の基盤を支える取組を支援することで、食材の安定供給力の強化を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 長崎県の強みである「食」のコンテンツに着目し、食文化や食材の発掘と磨き上げを図ることで、「食」を各分野の共通軸として、誘客を促進し、課題解決を図る戦略的な取組を実施する。さらに、長崎県の「食」の魅力とその食材を安定的に国内外に届け、その価値を浸透させる取組(食のバリューチェーンを構築)を誘客と連動して行うことで、地方から国内外に食が展開し、人を地域に呼び込むモデルを創り上げる。							
	【R8年度事業 経費内訳】 - 長崎ならではの食体験の提供・情報発信(委託料等) 43,695千円 - バリューチェーン構築(委託費、補助等) 129,900千円 - 国内外向けプロモーション(委託、補助、負担金等) 216,031千円 - 養殖水産物の安定供給力やニーズ対応力強化に向けた支援(委託等) 40,575千円 - 農水産物の安定供給体制の構築(機材導入補助) 65,498千円 - アンテナショップの環境整備(委託) 34,357千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額 (+319億円) ②農水産物の輸出額 (+14.73億円) ③支援対象者のうち売上が増加した事業者の割合 (+11%) ④ポータルサイトと公式ECサイトの訪問者数の合計 (+480千人)						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

事業概要：サイクルツーリズム推進のための環境整備

継続

申請者	長崎県					初回採択回	令和7年度第1回募集						
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	201,500千円 (30,500千円)						
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			✓					
目的・効果	県内のサイクルルートの環境整備を行うことで、滞在型観光のサイクルツーリズムを推進し、観光客・観光消費額を増加させ、地域活性化を図る。												
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 サイクルツーリズムはリピーター獲得に有効であり、インバウンドの増加も見込まれている。その中で、長崎県は多様かつ魅力的なサイクルツーリズムを展開するための高いポテンシャルを有しているが、サイクルツーリズムの受入環境が不十分な状況である。そのため、走行環境整備、受入環境整備、情報発信の三位一体となった事業を行うことにより、世界に誇れる受入環境が形成され、サイクルツーリズムによるリピーター獲得、インバウンド客数が増加し、地域活性化に繋がる。					<table><tr><th>公共事業</th><th>拠点整備</th><th>ソフト事業</th></tr><tr><td>・走行環境の整備  路面標示等の設置  案内看板等の設置</td><td>・受入環境の整備  サイクルラックの整備 貸出工具の配備 休憩スペースの設置 トイレの増設化等</td><td>・情報発信  ルートマップ・パンフレットの作成  ホームページのリニューアル</td></tr></table>		公共事業	拠点整備	ソフト事業	・走行環境の整備  路面標示等の設置  案内看板等の設置	・受入環境の整備  サイクルラックの整備 貸出工具の配備 休憩スペースの設置 トイレの増設化等	・情報発信  ルートマップ・パンフレットの作成  ホームページのリニューアル
	公共事業	拠点整備	ソフト事業										
・走行環境の整備  路面標示等の設置  案内看板等の設置	・受入環境の整備  サイクルラックの整備 貸出工具の配備 休憩スペースの設置 トイレの増設化等	・情報発信  ルートマップ・パンフレットの作成  ホームページのリニューアル											
【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・長崎県サイクルツーリズムの認知度・満足度向上のための情報発信事業 －HPリニューアル 500千円 ○インフラ整備事業 ・走行環境整備（路面標示整備、案内看板設置、路肩整備、側溝整備） －工事費 30,000千円													
主なKPI	①観光消費額（+2.53億円） ②レンタサイクル利用者数（+7,102人） ③HPアクセス件数伸び率（+90%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html						

事業概要：農林業に関連する人と産業を育成する総合拠点の整備

継続

申請者	長崎県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,010,117千円 (1,542,966千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・次代につなげる活力ある農林業産地の振興と多様な住民の活躍による農山村集落の維持・活性化を図る ・若者から「選ばれる」、魅力ある農林業・暮らしやすい農山村の実現のために、農業大学校と農林技術開発センターが連携強化し、これまでの農業技術に加え、農林業に関する人材育成と技術開発を実施する。 ・農業のスマート化、グリーン化などに対応でき、儲かる農林業経営を実践できる地域農業（しごと）を支える中心的役割を担う人材（ひと）を育成し、にぎわいのある農山村（まち）を創ることを目指す						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 技術開発を担う農林技術開発センターと人材育成を担う農業大学校を、「スマート化・グリーン化・グローバル化に対応できる人と産業を育成する農林業の総合拠点」として、一体的に施設を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・本館施設整備（外構含む） 880,771千円 ・周辺設備整備他 503,639千円 ・備品 158,556千円						
主なKPI	①農業産出額（農産園芸）（+96億円） ②農林業のスマート化・グリーン化に対応した研修者数（+435人） ③若者・女性農林業者の活躍につながる農林業のスマート化・グリーン化に対応した技術開発数（+100件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

事業概要：地域振興施設の整備と合わせた周辺道路整備による観光振興

継続

申請者	長崎県					初回採択回	令和7年度第2回募集						
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	872,000千円 (115,000千円)						
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			✓					
目的・効果	日本風景街道「ながさきサンセットロード」と「島原半島うみやま街道」を軸に、拠点整備・情報発信・公共インフラの充実を図り、地域の魅力を最大限に引き出すことで、観光振興と地域活性化を推進する。												
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 拠点整備として道の駅の受入環境の整備、インフラ整備事業として道路の走行環境の整備、ソフト事業として日本風景街道および道の駅等のPRを行う。					<table><tr><th>公共事業</th><th>拠点整備</th><th>ソフト事業</th></tr><tr><td>・施設周辺の快適な走行環境の整備  道路舗装の修繕  案内看板の設置</td><td>・受入環境の整備  トイレの洋式化  子供用トイレの設置 子育て応援設備の整備 (ベビーコーナー、おむつ交換台) 等</td><td>・情報発信 HPのリニューアル  長崎県版道の駅ルートマップの作成 WEBチラシの作成 パンフレットの作成 等 </td></tr></table>		公共事業	拠点整備	ソフト事業	・施設周辺の快適な走行環境の整備  道路舗装の修繕  案内看板の設置	・受入環境の整備  トイレの洋式化  子供用トイレの設置 子育て応援設備の整備 (ベビーコーナー、おむつ交換台) 等	・情報発信 HPのリニューアル  長崎県版道の駅ルートマップの作成 WEBチラシの作成 パンフレットの作成 等 
	公共事業	拠点整備	ソフト事業										
・施設周辺の快適な走行環境の整備  道路舗装の修繕  案内看板の設置	・受入環境の整備  トイレの洋式化  子供用トイレの設置 子育て応援設備の整備 (ベビーコーナー、おむつ交換台) 等	・情報発信 HPのリニューアル  長崎県版道の駅ルートマップの作成 WEBチラシの作成 パンフレットの作成 等 											
【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 日本風景街道および道の駅周辺の情報発信事業 ・HPリニューアル（多言語対応含） 1,000千円 ・風景街道と道の駅が連携したイベントの開催 1,000千円 ・ルートの紹介動画作成、インフルエンサー・メディアとの連携 1,000千円 ○拠点整備事業 集客ができ、リピータに繋がる、使いやすい環境の整備 ・施設整備（イベントスペース整備、トイレの洋式化、子供用トイレ、子育て応援設備の整備） 10,000千円 ○インフラ整備事業 風景街道ルート内および道の駅への走行環境を向上させるための舗装修繕および案内板設置事業 ・工事請負費 102,000千円													
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①主要エリアの滞留人口（+943人/月） ②道の駅入場者数（+17万人） ③風景街道イベント参加者数（+1,618人） ④道の駅アクセス満足度（+40%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html						

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	長崎県					初回採択回	令和7年度第2回募集						
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	236,500千円 (71,000千円)						
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			✓					
目的・効果	・市民の歩行環境と地域の魅力向上を目的に、休憩設備や緑化整備、脱色舗装などのハード整備と、「ほこみち」制度を活用したイベントなどのソフト施策を一体的に展開。安心して歩き、集い、語らえる公共空間を創出し、地域の回遊性と滞在価値を高める。												
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 歩道を、景観と環境に配慮した脱色アスファルト舗装で整備し、休憩設備など快適な空間を創出する。「ほこみち」に関する情報発信を行い、賑わいのある空間を創出する。					<table><tr><th>公共事業</th><th>拠点整備</th><th>ソフト事業</th></tr><tr><td>・脱色アスファルト舗装を適用した景観舗装の整備 </td><td>・快適な生活環境の創出（休憩設備の設置）  ・照明灯LED化、東屋・木製トイレ更新 </td><td>・ほこみち（歩行者利便増進道）でのマーケティング活用を行い、賑わいのある道路空間を創出 </td></tr></table>		公共事業	拠点整備	ソフト事業	・脱色アスファルト舗装を適用した景観舗装の整備 	・快適な生活環境の創出（休憩設備の設置）  ・照明灯LED化、東屋・木製トイレ更新 	・ほこみち（歩行者利便増進道）でのマーケティング活用を行い、賑わいのある道路空間を創出 
	公共事業	拠点整備	ソフト事業										
・脱色アスファルト舗装を適用した景観舗装の整備 	・快適な生活環境の創出（休憩設備の設置）  ・照明灯LED化、東屋・木製トイレ更新 	・ほこみち（歩行者利便増進道）でのマーケティング活用を行い、賑わいのある道路空間を創出 											
【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 賑わい創出のための情報発信および、ほこみち（歩行者利便増進道）の指定に向けた取り組みを実施 ・情報発信およびイベント開催 1,000千円 ○拠点整備事業経費 休憩設備等を整備 ・設備整備 40,000千円 ○インフラ整備事業経費 景観および環境に配慮した脱色アスファルト舗装で整備 ・工事請負費 70,000千円													
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①歩行者通行量（+5,047人/日） ②エリア内滞留人口（+3,727,186人/月）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html						

事業概要：地域活力創出による持続可能な社会基盤の構築プロジェクト

新規

申請者	長崎県ほか 2 1 自治体※					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,554,356千円 (529,647千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域外から多様な人材や知見を呼び込み、新たな関わりを創出することで、地域にイノベーションを生み、活性化を促進する。 ・若者が地域に定着し、多様な分野で担い手として活躍できる環境を整えることで、将来の地域を支える人材基盤を確保する。 ・多様な住民が安心して暮らせる環境を整備し、地域のつながりを強化することで、多文化が共存し安心安全な地域社会を実現する。 ・一次産業を中心に基幹産業の担い手不足を解消、事業承継を促進し、雇用維持や地場産業の持続的発展につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域外の人々との継続的な関係構築による関係人口の創出と移住促進、若者の県内定着と地域を担う人材育成、多様な文化や価値観を受け入れる共生社会の実現、安全・安心の確保、さらに農業・水産業や交通・物流分野を含む地域産業の人材確保・定着を総合的に推進するものである。 これにより、地域への関心喚起や就業機会の拡充、教育・交流・ICT活用による人材育成、SDGsの普及や防犯対策の強化、一次産業や中小企業の担い手確保を通じて、地域の持続的な活力維持と経済基盤の強化を図る。					 市町と連携し、長崎県の魅力や多様な関わり方を発信する「関係人口創出・拡大イベント」	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○関係人口創出と移住促進に向けた相談体制の強化と整備 167,342千円 ・関係人口の創出、拡大、深化施策の強化による地域活性化の推進 ・移住促進につながる関係人口向け相談体制の強化 ○若者が地域に定着し、地域の担い手として活躍できる環境整備 77,723千円 ・若者の県内定着促進 ・地域の担い手としての人材育成支援 ○多様な文化や価値観を受け入れ、安心して暮らせる共生社会構築 61,988千円 ・地域中間組織や地場企業、団体との連携による共生社会の実現 ・防犯情報発信や防犯機能を有するアプリ開発と普及啓発 ○地域経済の基盤である一次産業事業者や地場中小企業の人材確保・定着を図る 222,594千円 ・一次産業(農水産業)やエッセンシャルワーカーの人材確保・定着支援 ・農山村集落の活性化に向け、担い手を呼び込み稼ぐ取り組みに必要な農業用整備への支援						
主なKPI	①県外から本県へのUIターン者数 (+ 502人) ②県内大学生の県内就職率 (+ 4.6%) ③第1次産業新規就業者数 (農林水産業) (+ 13人)					URL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

※長崎県、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、西海市、雲仙市、南島原市、長与町、時津町、東彼杵町、川棚町、波佐見町、小値賀町、佐々町、新上五島町の広域連携事業

事業概要：力強く稼ぐ観光プロジェクト

新規

申請者	長崎県ほか 5 自治体※					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,884,310千円 (1,395,347千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・世界遺産や離島、豊かな食など多様な資源を最大限活かし、観光産業の稼ぐ力を高め、観光消費額増加と付加価値向上を図る。 ・インバウンドを重点に、海外OTA・SNSの活用や旅行会社等との連携により国内外の誘客を強化し、旅行ニーズの多様化に対応した高付加価値コンテンツの充実を図り、観光人材の確保育成や受入環境整備により滞在価値を高め、観光消費額の増加につなげる。 ・長期滞在につながる広域周遊を推進し、経済効果を県内に広げ、住む人・働く人・訪れる人が満足する持続可能な観光を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 世界遺産・日本遺産を核に、地域の魅力を面的につなぐ地域間連携による観光まちづくりを推進し、交流人口と観光消費額の拡大を図る。さらに、国内外のターゲット市場に応じた戦略的プロモーションと情報基盤整備により誘客を強化する。また、人材不足解消や働きやすい環境整備を進め、サービス品質と観光産業の持続性を高める。あわせて、観光の担い手育成と誰もが安心して旅行できる環境整備を進め、持続可能な観光体制を確立する。					【長崎県が誇る 2つの世界遺産と4つの日本遺産】 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・世界遺産等を活用した観光コンテンツ造成と広域周遊推進（委託料等）231,968千円 ・FIT誘客や現地プロモーション等によるインバウンド誘客の推進（補助金等）171,253千円 ・関西エリア等の国内主要市場に向けた誘客の推進（委託料等）125,683千円 ・観光データベース整備等によるマーケティング基盤の強化（補助金等）38,150千円 ・多様な人材の確保育成やAI等を活用した受入環境整備（委託料等）96,817千円 ・国際航空路線の戦略的な誘致等の推進（補助金等）154,389千円 ・自然公園等の滞在環境上質化や海業施設整備（施設改修費等）192,514千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+532億円） ②観光消費単価（+1,000円） ③延べ宿泊者数（+46万人泊） ④観光客の満足度（+1.7%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

※長崎県、島原市、五島市、雲仙市、南島原市、時津町の広域連携事業

事業概要：地域経済発展のための産業振興プロジェクト

新規

申請者	長崎県、西海市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,284,621千円 (455,487千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・製造業の生産性向上、人材確保等を幅広く支援し、地域への波及効果が高い製造業による地域経済活性化を目指す。 ・地域を支える中小・小規模事業者の「稼ぐ力」の向上を目指し、地域経済の持続的発展に繋げる。 ・A I 等のデジタル技術やドローン等を活用した新たなサービスの創出を促進し、地域活性化に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 日本成長戦略本部で掲げられた重点投資の17分野に指定されている「造船関連」「海洋エネルギー関連」などの本県の基幹産業の振興をはじめとして、地域への波及効果が高い製造業の更なる振興のため、県内企業の生産性向上、人材確保、賃上げ・職場環境改善への取組等を支援し、地域全体が持続可能な稼げるサプライチェーンへの強靱化を目指す。 また、地域を支える県内中小・小規模事業者のデジタル化の促進により業務効率化や生産性向上を図るほか、ドローン等の新技術を活用した、より生産性の高いサービスの創出を推進することで、事業者の新たなサービス創出につなげ、県内経済の更なる活性化を目指す。					 商船建造（提供：(株)大島造船所）	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・製造業サプライチェーンの強靱化に繋がる県内企業の生産性向上支援（補助金）150,000千円 ・大手企業誘致に向けた立地環境広告・PRセミナー・専門人材配置（補助金）62,368千円 ・中小・小規模事業者のDX促進、新サービス創出支援のためのセミナーや、経営指導員による伴走支援（補助費等）99,150千円 ・ドローンや次世代モビリティの活用による新サービス創出支援（委託料等）10,134千円					 ドローンでの医薬品等配送	
主なKPI	①基幹産業4分野における製造品出荷額（+2,946億円） ②基幹産業4分野における雇用者数（+1,383人） ③デジタル技術等を活用した新たなサービス実装の創出件数（+6件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：長崎離島海道にぎわい創出事業
～地域の恵みを活かした海洋交流の拡大～

新規

申請者	長崎県、壱岐市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,889,000千円 (336,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ 離島間を結ぶ広域ヨットルートにおいて、受入環境整備や情報発信、地域資源を活かした体験型観光の提供を推進する。 ・ 寄港手続きの効率化や周遊促進により寄港者・滞在日数・消費額の増加を図り、水産加工・飲食・直売・観光サービス等の地場産業の付加価値向上と販路拡大、雇用創出を通じて地域経済の維持・活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 水産物直売所や地域資源を活用した体験型観光を提供する環境を整備し、寄港者の滞在価値を高め、観光消費の拡大につなげる。あわせて、係留施設や付帯設備、受付・待合スペースの整備により受入体制を強化し、長期滞在やイベント利用を促進する。さらに、専用Webサイト等による情報発信の充実や、体験型観光プログラム・地域資源の活用を通じて滞在価値を高め、寄港地間の連携による交流・消費の拡大と地域経済の活性化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物整備 36,000千円 水産物直売所、飲食・体験空間、受付・待合所整備 ○インフラ整備事業 ・港湾整備事業 250,000千円 ・農山漁村地域整備交付金 50,000千円 寄港数の増加に対応した係留施設等の整備						
主なKPI	① 壱岐市・新上五島町の観光消費額 (+21,770千円) ② 広域ヨットルートの利用隻数 (+72隻) ③ 体験プログラムの利用者数 (+173人)					URL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値		※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL					

事業概要：橋湾ブルーホットライン創生プロジェクト

～地区間・季節間の連携により、人が集まり、巡る地域づくり～

新規

申請者	長崎県ほか 2 自治体						初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R12年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,590,500千円 (116,500千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	・季節性の高い集客拠点において、集客施設の改築や新たな観光コンテンツ造成といった通年の集客力向上に取り組む。 ・集客力の強化に加え、地域が一体となった観光プロモーションを展開し、地域内を周遊する人の流れを創出する。 ・集客、周遊による観光振興を通じて、これらを支える農水産業の付加価値向上を後押しし、地域経済全体の好循環を形成する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 橋湾地域は豊かな自然環境と多様な地域資源を擁し、観光振興による地域活性化の潜在力を大いに有している。しかし、観光の核となる海や温泉は季節性が強く、通年の集客力確保や地域内周遊の促進に課題を抱えている。 こうした状況を踏まえ、海水浴場や温泉地などの集客拠点において、既存施設の改修や新たな体験型コンテンツの創出を図り、通年の集客基盤を構築する。 併せて、地域が一体となって展開する観光プロモーションを通じて、地域内を巡る人の流れを生み出し、滞在・消費の拡大を実現する。 これらの取組を連動させることで、観光振興のみならず、農林水産業など観光を支える地場産業の付加価値向上を後押しし、地域経済全体の好循環を形成する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物改築工事 集客拠点整備 17,500千円 ○インフラ整備事業 ・海岸整備事業 54,000千円 高波浪から集客拠点・集客施設を防護するための突堤整備 ・港湾整備事業 45,000千円 地場産業の効率化・付加価値向上に資する浮桟橋整備							
主なKPI	①観光消費額（+72,400千円） ②観光客数（+20,600人） ③閑散期（冬季）における結の浜来訪者数の増加（+1,450人） ④閑散期（夏季）小浜地区来訪者数の増加（+4,075人）						URL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：長崎県産品海外展開プロジェクト

新規

申請者	長崎県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	948,019千円 (286,023千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・本県の輸出主要品目について、供給体制の構築や認知度向上、販路拡大を推進することにより、県産品の輸出額増加を図る ・長崎県産品が国内外で広く認知され、消費者に選ばれるブランドとしての地位を確立することで、県内産業の持続的な成長と地域経済の活性化につなげる						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 輸出向け品目の生産体制の整備、国際認証取得支援、商品開発支援などによる高付加価値化を推進する。また、バイヤー等の招聘、海外での県産品フェア、SNSを活用した情報発信、現地百貨店・飲食店との連携により販路開拓に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○輸出品目の供給体制の構築 ・長崎和牛の輸出先国ニーズに対応した生産基盤の確立(補助金)57,400千円 ・スマート技術の確立に向けた改良・実証42,614千円 ○高付加価値化の推進 ・中小企業者等と農林漁業者が連携して行う新商品開発等支援 14,338千円 ○認知度向上・販路開拓に対する支援 ・SNS・インフルエンサーを活用したPR,フェア開催(委託費)6,972千円 ・バリューチェーン構築のための販路開拓支援(補助金)9,000千円						
主なKPI	①長崎県産品の輸出額（+3,000百万円） ②生産性向上のための支援実施事業者数（+21者） ③新たな国への輸出に取り組んだ事業者数（+21者） ④現地ニーズに応じた高付加価値化支援件数（+81件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	長崎県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	470,682千円 (41,542千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ 省力化・軽労化を実現するスマート農業技術の開発と環境に配慮した持続可能なグリーン化技術の開発を進める。 ・ 県内畜産経営者がスマート化・グリーン化技術に関する最新情報を継続的に学ぶ機会を創出し、農業大学校の学生や既に就農している農業者への教育により「地域で活躍できる人材」を育成する。 ・ 上記により、畜産業の担い手不足や労力不足に対応し、産地の維持・拡大を図り、本県畜産業の持続的な発展に貢献する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スマート畜産技術、国産飼料生産技術、「みどりの食料システム戦略」への対応に関する研究を拡充・強化し、研究と教育の連携を深めることで、スマート化・グリーン化に対応できる人材と産業の育成を目指すため、以下の施設整備を行い、若者や女性も参画しやすい、快適で持続可能な畜産業の総合拠点を構築する。 1. 最先端スマート牛舎の整備（新築） 2. 暑熱対策牛舎・豚舎の整備（模様替え） 3. 研修棟の整備（新築） 4. スマート・グリーン技術の開発および研修に必要な備品					センサーで牛を見守り、クラウドでデータを集め、AIが分析し、ロボットが動く——すべてがつながるスマート牛舎 現在… たとえば… Smart!	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事（設計費） スマート牛舎整備 10,815千円 暑熱対策牛舎・豚舎整備 15,072千円 研修棟整備 15,655千円					10年後の長崎県における肉用牛経営 長崎型自動給餌 自動でエサを供給…だけでなく、個体毎に必要な量を判断して量を自動調整。摂取量もモニタリング。 長崎型分娩監視 お産を見守る…だけでなく、AIが子牛の体重を推定し、初乳摂取の有無を判定。 長崎型発情発見 発情兆候を検知…だけでなく、検知牛を待機誘導・保定。 長崎型行動観察 起立不能牛を検知…だけでなく、検知牛の起立行動を誘発。	
主なKPI	①農業産出額の維持（±0億円） ②農林業のスマート化・グリーン化に対応した研修者数（畜産分野）（+138人） ③農林業のスマート化・グリーン化技術開発数（畜産分野）（+15件）					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-582970.html

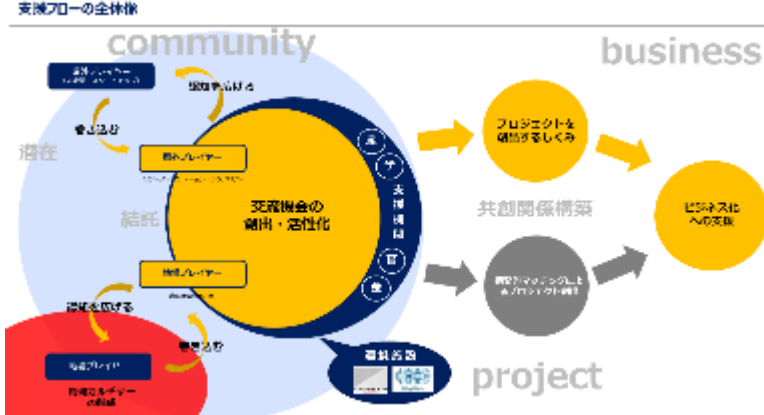
事業概要：長崎スタジアムシティを核とした官民連携による長崎創生プロジェクト

継続

申請者	長崎県長崎市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	342,281千円 (112,282千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	民間企業主導で整備が進んでいる「長崎スタジアムシティ」の開業（2024年10月）を契機に民間の活力を最大限の活かした地方創生に繋げるため、地域資源を磨き上げ、域外への情報発信、観光、商工、水産農林、教育等の分野と連携することで地域の魅力向上を図るとともに、訪問客などの新たな人の流れを作り、市内全域の消費の拡大等に繋げることで、市内経済の活性化と好循環に繋げる。それらに加え、市民の楽しみやまちの賑わいを創出し、住み続けたいと思えるまちになることで「若い世代に選ばれる魅力的なまち」を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 長崎スタジアムシティの開業を契機に、「地域資源を磨き上げ」「域外への情報発信」を行いながら「新たな人の流れ」を創出し、「市内経済の活性化と好循環」につなげるものである。具体的には、「開業気運の醸成」としてラッピングやイベント、情報発信を実施するとともに、「開業効果の波及」によりスタジアムシティを起点とした商店街や観光施設への誘客や「市内回遊の促進」「観光消費額の拡大」を図る。また、「まちの賑わい創出」に向けたイベント支援や、「若者のチャレンジを気軽に形にできる場」の整備、スポーツ体験やデジタル人材育成などを進め、官民連携により地域全体の魅力向上と持続的な発展を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ≪ 1. 気運醸成事業≫ ・ 効果的な情報発信 1,980千円 ≪ 2. 開業効果波及事業≫ ・ 「市民に楽しみ」を創出 12,224千円 ・ 「まちの賑わい」を創出 61,178千円 ・ 新たな「こどもの体験」の場の創出 36,900千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+616億円） ②本市への訪問客数（+343万人） ③本市における宿泊客数（+135万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：地域内外主体の共創関係構築を主軸としたオープン・イノベーション
エコシステム形成推進事業

継続

申請者	長崎県長崎市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	121,383千円 (41,280千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地場プレイヤー（地場企業・地場創業者）を中心とし、県外プレイヤー（大企業・スタートアップ等）、金融機関、大学等域内に留まらない域外も巻き込んだ多様な業種・業態のステークホルダーが、絶えず流動・交流し、互いの知識やアイデア、ノウハウ、リソース等を共有・補完する「共創」関係を構築することで、継続的に新規事業が生まれ続けるオープンイノベーション・エコシステムの構築による持続可能な地域経済の実現。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 実証・事例創出の場を求める県外・地場プレイヤーに対して、実証の場として選ばれるため事業化に向けた実証実験・事業実施の各種調整支援や実証フィールドの提供、プロモーションの支援等を実施する。また、地場協力企業の持つアセットを活用した実証実験実施による関係構築のきっかけづくりや県外プレイヤーと地場プレイヤーのマッチングに向けたネットワーキング支援を展開することで、県外プレイヤーとの連携や地場プレイヤーの成長につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 <1. オープンイノベーション・エコシステム構築支援事業> ・イノベーション創発コミュニティ育成及びカルチャー醸成（委託費）16,540千円 ・イノベーション創発カルチャーの醸成に向けた若年者人材育成（委託費）10,000千円 ・起業家・起業家予備軍コミュニティ創出・育成支援（委託費）5,000千円 ・創業者成長支援補助金（補助金）5,000千円 ・オープンイノベーション型新規事業創出に向けたアドバイザー事業（報償費、招聘に係る旅費、会場使用料）240千円 <2. オープンイノベーション型新規事業創出プロジェクト推進事業> ・オープンイノベーション型新規事業創出プロジェクトへの支援（補助金）4,500千円						
主なKPI	①地域における新規雇用者数（+900人） ②地場企業等と県外企業等との協業による新規事業創出に係る事業化件数（+3件） ③企業立地件数（市外企業新設）（+9件） ④創業サポート長崎の支援による創業者数（+847件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：企業のミライデザインプロジェクト

継続

申請者	長崎県長崎市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	126,124千円 (42,607千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	1. 若年層に選ばれる魅力ある雇用の受け皿の整備を図る 2. 多様な人材が活躍できる職場環境の整備を図る 3. 労働生産性向上を突破口にした稼げる地元企業の育成を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若年層の価値観や就職活動の在り方が多様化するなかで、企業側の採用活動や働き方の見直しが求められているが、ノウハウ不足や人手不足などから十分な対応ができていない企業も多く見受けられるため、専門家のノウハウを活用したセミナーやワークショップ、伴走支援を行うことで、若年層が魅力を感じる雇用環境の整備を促進する。 また、人手不足の解消に向け、高齢者などの潜在労働者活用支援、地元企業のDX推進による労働生産性向上のための取組を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ＜1. 雇用環境整備及び地元企業の魅力発信による若年層の雇用促進＞ ・地元企業未来創造プロモーション（委託料）8,966千円 ・企業向け意識啓発セミナー（委託料）12,399千円 ＜2. 多様な人材が活躍できる職場環境の整備＞ ・外国人材受入定着促進補助金（補助金）1,500千円 ・女性活躍ロールモデル創出補助金（補助金）1,500千円 ＜3. 地元産業における労働生産性向上事業＞ ・伴走型デジタル化支援費補助金（補助金）4,000千円						
主なKPI	①事業者への新卒採用状況調査における求人数に対する平均充足率（+13.20%） ②市内高校卒業者の市内就職率（+5.7%） ③本事業のDX化支援によってDX技術を導入した事業者数（+60者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：長崎市産品振興による地域活性化プロジェクト

継続

申請者	長崎県長崎市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	97,000千円 (44,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市内で生産、製造される産品の販路拡大をはじめ、消費者視点を重視した商品開発や生産拡大、販売体制の整備などを推進し、持続可能な食品産業の構築を目的とする。 ・少ない人員体制で販路開拓に取り組める体制づくりと、市場規模が大きいマーケットへの参入を推し進めると同時に、生産基盤整備を支援することで、市場における競争力の強化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、短期的な販路確保にとどまらず、「売れる商品づくり」から「持続可能な生産供給体制」まで、地域の産業力を底上げする基盤の構築を目指し、市内事業者の販路開拓を支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ＜1. 地元事業者の課題解決プロジェクト策定・推進事業＞ ・課題解決プロジェクト策定支援（委託料）1,760千円 ・課題解決プロジェクト推進（委託料）3,290千円 ＜2. 販路開拓促進事業＞ ・バリューチェーンの構築支援（委託料）30,840千円 ・商品開発・改良等支援（委託料）8,110千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①水産物展示商談会における商談成約額（+6.6百万円） ②農産物販売額（+3億円） ③地域商社として取引された商談成約件数（+30件） ④地域商社事業で開拓された販路数（+15件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：世界とつながる持続可能な交流都市「長崎」実現プロジェクト

新規

申請者	長崎県長崎市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	848,439千円 (254,954千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 多様化する観光ニーズに対応したコンテンツの創出と、長崎が持つ歴史、伝統文化などの独自の魅力の磨き上げにより観光コンテンツの再構築を図る。 - 飲食業や農林水産業、長崎特有の街並みなどの地域資源を生かした付加価値の高い観光コンテンツの造成や市内の周遊促進により、持続的な発展と市内民間事業者の稼ぐ力の底上げを図る。 - 国内外の誰もが安全、安心して訪れ、快適に滞在することができる観光基盤を整備する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、行政、DMO、観光関連事業者、地域住民が各分野において連携し、新たな観光コンテンツの造成や既存コンテンツの成熟、市内外へのプロモーションの展開により、長崎の地域資源を活かした高付価値化による消費単価の向上を図る。これらの取組により、長崎市の基幹産業の1つである観光産業を起点とした「稼ぐ力の向上」と「継続的な経済効果の波及」を促す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○滞在価値の最大化と魅力発信 ・観光コンテンツの創出やプロモーションの実施（委託料）131,944千円 ○地域観光・MICE産業の持続的成長 ・周遊観光の促進（委託料）58,844千円 ○危機や変化に強くなやかに対応する基盤づくり ・オーバーツーリズム対策や滞在環境の整備（委託料）3,974千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①旅行消費額[暦年]（+565.8億円） ②経済波及効果[暦年]（+855.6億円） ③訪問客数[暦年]（+840千人） ④宿泊者数（日本人、外国人含む）（+930千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：市内企業GX推進プロジェクト

新規

申請者	長崎県長崎市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	34,300千円 (7,700千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	製造業の産業競争力強化を実現するため、脱炭素経営への転換を通じて以下を達成する。 ・設備投資による労働生産性の向上 ・エネルギーコストの削減 ・サプライチェーンでの競争優位性確保 ・新規取引機会の創出と企業価値向上						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 経営課題に関する経営者の気づきを誘導し、脱炭素経営の必要性や先行事例を伝える啓発セミナーを実施し、さらに専門家を派遣することで、各事業者が抱える経営課題に対し、脱炭素経営の手法を使った改善提案を行う。 なお、専門家による伴走支援の取組事例は実践事例の報告会としてほかの地場事業者へ共有し、脱炭素経営を身近なものとする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・経営層向け啓発セミナーの開催（委託料）1,820千円 ・地場事業者の意識改革のための伴走支援（委託料）4,500千円 ・成果保の可視化と横展開（委託料） 1,380千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内製造業の従業員1人あたりの付加価値額（+202万円） ②本事業への参加事業者数（毎年度+18社） ③市内製造業の製造品出荷額（+441億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

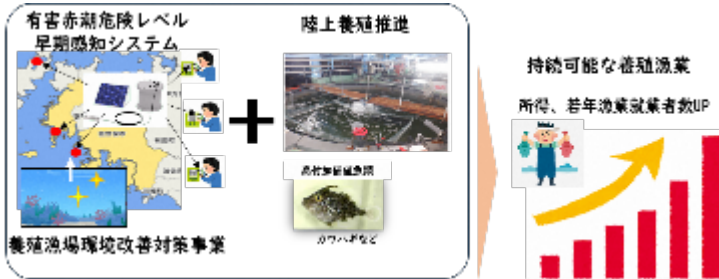
事業概要： 離島・歴史文化・特産品あらゆる地域の魅力を活かした
観光交流人口の拡大による地域の活力創出プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	長崎県佐世保市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	134,392千円 (24,075千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	自然・歴史文化・食・特産品などあらゆる地域の魅力を最大限に引き出すことによって「訪れる価値」を創出・発信し、観光交流人口と観光消費の拡大により、コロナ禍からの回復に及んでいない離島をはじめとする地域の経済を活性化させ、地域社会の持続可能な発展を促進する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様な観光資源について様々な角度から生きがいに訴求する魅力「訪れる価値」を構築・発信し、本市各地域における「誘客」と「観光消費機会拡大」に繋げる取り組みを展開する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・北九十九島エリアマネジメント事業（委託料）2,000千円 ※エリア全体の魅力向上と活性化を図るため、エリアがもつ歴史や自然、文化の情報発信 ・佐世保フィールドミュージアムプロジェクト（委託料・負担金） 5,693千円 ※グリーンスローモビリティ等を活用した持続可能な島内観光の受入体制整備、日本遺産「鎮守府」を活用した誘客・周遊の促進を図るため情報発信等 ・世界で最も美しい湾クラブ加推進事業（負担金・委託料） 2,401千円 ・地域ならではの特産品魅力発信（委託料・負担金） 3,800千円 ・広域連携による周遊観光の推進事業（補助金） 7,500千円 ・寄港地観光推進事業（委託料） 2,681千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+208.23億円） ②延べ宿泊者数（+30.9万人） ③延べ観光客数（+33.5万人） ④再来訪率（+9.0%）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (佐世保市総合計画審議会リンク) https://www.city.sasebo.lg.jp/shise/kekaku/sogo/shingikai/index.html

事業概要：地域水産業の経営に寄り添った持続可能な養殖漁業推進計画

継続

申請者	長崎県佐世保市、平戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	38,657千円 (9,922千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「養殖漁場の環境改善を行いながら、最新機器を用いて赤潮軽減対策を行うこと」と、「新たに陸上養殖を取り入れる」といった、既存漁業の安定化並びに新規開拓を行い、安定した生産量の確保と、高付加価値魚類等の生産によって、養殖漁業の所得安定・向上の実現を図る。 - 陸上養殖の導入により、労働環境が改善されることで、若者に選ばれる職業の創出、それに伴う新規漁業従事者の確保、今後も増加する高齢者雇用機会の創出など、主要産業である水産業の活性化による地方創生を行うもの。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存の海面養殖漁業を継続して行うことができるよう、赤潮監視装置の設置や漁場改善対策を行うもの。また、陸上養殖を開設するための施設整備補助および水産センターにおいては陸上養殖の試験を行うことで、陸上養殖推進を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 (ソフト事業経費) ○陸上養殖試験事業 ・陸上養殖試験経費 1,929千円 ○有害赤潮危険レベル早期感知システム導入事業 ・有害赤潮危険レベル早期感知システム賃貸借費 3,206千円 ○養殖漁場環境改善対策事業 ・養殖業育成事業補助事業費 1,787千円 (ハード事業経費) ○陸上養殖推進事業 ・陸上養殖の開業を支援する補助事業費 3,000千円						
主なKPI	①地域における水産物出荷額（平戸、佐世保両市の養殖業漁獲高） （+2,017千円） ②陸上養殖事業者の新規参入者数（+6者） ③陸上養殖試験実施回数（+3回） ④有害赤潮危険レベル早期感知システムデータのHP閲覧数（+468回） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（佐世保市総合計画審議会リンク） https://www.city.sasebo.lg.jp/shise/kekaku/sogo/shingikai/index.html

申請者	長崎県佐世保市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9 年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	119,899千円 (26,499千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・R7の「西海国立公園指定70周年」を契機として、九十九島での過ごし方や九十九島での冒険、体験などをテーマにした九十九島のブランディングと九十九島パールシーリゾートへの誘客、滞在時間の延長の促進 ・ハウステンボスとの連携を強化し、人気コンテンツを絡めたイベント等の開催により、誘客と周遊対策を図るもの。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 西海国立公園九十九島とハウステンボスを核に、広域的な誘客と周遊を促進する。九十九島では、西海国立公園70周年事業（1年目）に実施した食と遊覧船を組み合わせた取り組みのブラッシュアップや、質の向上を図るほか、ハウステンボスにおいては、R7に実施したシャトルバスをイベント等と絡めたスポット的な運行とするほか、人気コンテンツと市内の観光地などを絡めた誘客・周遊対策を展開する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・九十九島パールシーリゾート食の拠点化事業（2,499千円） ・ハウステンボスとの連携による誘客・周遊対策（24,000千円） ・人気コンテンツとのコラボによる誘客対策（周遊スタンプラリー等） ・OTA等とのタイアップによる誘客 ・メディア招へいなど					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（228.38億円） ②消費単価（6,000円） ③パールシーリゾート来訪者数（150,000人） ④宿泊率（1.5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（佐世保市総合計画審議会リンク） https://www.city.sasebo.lg.jp/shise/kekaku/sogo/shingikai/index.html

申請者	長崎県佐世保市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	13,500千円 (4,500千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	- 離島や中山間地域において、黒毛和牛の雌牛（母牛）を飼養し繁殖させ、生まれた子牛を販売する繁殖農家が多く、重要な産業となっているが、資材高騰などにより、母牛の更新が遅れている。 - 母牛は加齢するに従い、受胎率の低下や生まれる子牛の小型化などの影響が生じることに加え、母牛となる牛の改良は年々進んでいることから、早期の母牛更新を推進し、子牛の性能の向上に大きく寄与する。							
事業概要・主な経費	【事業概要】 高齢母牛を飼養している繁殖農家が新たに若い母牛候補となる雌牛を市場からの購入などにより導入することに加え、高齢母牛を食肉等として出荷する場合に子牛の購入にかかる費用の一部（1/3、上限15万円）を補助することにより、繁殖農家の母牛更新費用の負担軽減を図り、母牛の更新を促進する。					R5 14歳 12歳 10歳 8歳 6歳 4歳 2歳 0歳 0200 高齢牛22% 事業実施 R9末 14歳 12歳 10歳 8歳 6歳 4歳 2歳 0歳 0200 高齢牛11%		
	【R8年度事業 経費内訳】 母牛候補の導入に係る費用 4,500千円							
主なKPI	①認定農業者1人あたりの生産額（+94万円） ②補助対象農家の出荷した子牛平均価格の増（+30万円） ③佐世保市内における繁殖用黒毛和牛の母牛10歳未満が占める割合（+11%）					URL	（佐世保市総合計画審議会リンク） https://www.city.sasebo.lg.jp/shise/kekaku/sogo/shingikai/index.html	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値								

事業概要：佐世保「基地経済圏」高度化戦略プロジェクト～防衛需要の還流
と経済安全保障を支える産業による「強い」経済の創出～

新規

申請者	長崎県佐世保市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	31,500千円 (14,500千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・造船・防衛関連企業の生産基盤及び供給網強化を推進し、市内企業の防衛需要取り込みの拡大につなげる。 ・市内企業の技術力向上や人材育成・確保への支援を行い、防衛関連の高度な案件の受注拡大を図ることで、企業の利益拡大や地域経済活性化につなげ、「基地」という地域資源を最大限に生かし、地域経済全体の成長を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 防衛関連分野の需要拡大に対応するため、防衛関連産業に関わる市内企業の状況把握及び掘り起こしに加え、米艦船修繕等の地元調達に係る参入障壁を低減する支援体制の検討を行い、具体的な支援策・事業計画の明確化を図る。 また、企業と自衛隊との取引拡大につながる企業展の実施や、防衛関連企業に対する技術力向上支援を行うとともに、県・市・企業が連携して造船人材確保に関する取組みを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・基地経済強化に向けた産業戦略調査の実施（委託料）10,000千円 ・商工会議所と連携した企業展の開催（負担金）500千円 ・防衛関連産業における技術力向上への支援（補助金）3,000千円 ・造船人材の確保を図る取組（負担金）1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内輸送用機械器具製造業の付加価値額増加（+16億円） ②自衛隊関連の受注額（+38億円） ③自衛隊関連の受注率（+6.6%） ④佐世保工業会における内定者数の充足率（+9%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

事業概要：佐世保市働き方改革と人材定着支援パッケージ事業

新規

申請者	長崎県佐世保市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	18,060千円 (3,020千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・固定的な性別観に基づくアンコンシャス・バイアスの解消と、国が掲げる定量目標である女性のM字カーブとL字カーブの改善。 ・多様な人材が地域で働き続けられる魅力的な職場づくりを実現し、これを通じて地元定着と企業成長の好循環を生み出す。 ・市内企業に対して、柔軟な働き方や職場改善の推進に対する支援を行うことにより、市内企業における労働者の確保や労働生産性の向上、地場産業の付加価値向上に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 企業単独での改革の限界を克服するため、女性活躍応援宣言事業所を中心とした協議会を形成し、意見交換や異業種交流を行い、更なる女性活躍の推進について検討を進めながら、セミナーを開催するなど、好事例の普遍化へ繋げていく。 職業観形成段階にある中学生を対象とした企業見学を実施し、地元企業の働きがい伝え、職業選択の可能性を拡げ、将来的なミスマッチを解消することに繋げる。					<pre>graph LR; A([アンコンシャスバイアスの解消や職場改革の推進]) -- "+" --> B([職業観形成段階にある中学生へのアプローチ]); B --> C([多様な人材が働き続けられる魅力的な職場が増え、若年層にも認知されることで、若者や女性に選ばれる地方となる。]);</pre>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域企業の経営者向け及び女性従業員向けのアンコンシャスバイアスの解消や職場改革に向けたセミナーを実施（報償費）600千円 ・アンコンシャスバイアス解消や地域企業の職場改善の取り組みに関する周知広報等（印刷製本費・需用費等）402千円 ・地域のステークホルダーによる協議体形成事務（人件費）18千円 ・中学生への体験型の企業見学や職業観を醸成するためのデジタルガイドブックの作成（委託料）2,000千円						
主なKPI	① 転出超過数（▲60人） ② 市内大学生の市内就職率（+1.5%） ③ 事業を通じた「働き方改革」に取り組む企業の増加（+65社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

事業概要：西九州させば広域都市圏をフィールドとした新しい食文化による「食と滞在」
産業クラスター創出プロジェクト ～西九州を味わい、滞在し、稼ぐ圏域へ～

新規

申請者	長崎県佐世保市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	494,932千円 (175,778千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「食」をフックに地域文化・芸術・歴史をつなげることで圏域の周遊と長期滞在による観光消費額の拡大を図る。 - 人材育成や環境整備を行い、ガストロノミーツーリズム及びカルチュラルオーベルジュの推進を目指すことにより、圏域における新しい食文化を創出し、高付加価値化を図る。 「食都・佐世保」のブランド化を図るため、新たな食材の掘り起こしを行うと共に、西九州食財の情報発信に取り組む。 - ハウステンボス・九十九島・まちなかの連携を強化し、中心市街地への人流増加に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 西九州させば広域都市圏における観光消費額が伸び悩んでいる理由として滞在日数の少なさがあり、その要因としてコンテンツの連携不足が挙げられるため、西九州の食資源の発掘・高付加価値化及びカルチュラルオーベルジュへの展開に向けた支援を実施することで、滞在時間の延長に繋げ、宿泊滞在型観光の実現を目指すもの。 また、地域の食資源を活用した料理人育成にかかる実践の場を整備する。加えて、戦略的かつ安定的にスピード感をもって事業を実施していくため、官民連携の推進組織の設立への支援を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・カルチュラルオーベルジュの展開に向けた伴走支援（負担金） 166,342千円 ・料理人育成・創業支援テストキッチン整備（補助金） 9,436千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①延べ宿泊客数（+503,000人/年） ②再来訪率（+8.2%） ③ガストロノミーツーリズムの商品開発を担う専門人材の育成数（+30人） ④圏域へのカルチュラルオーベルジュの展開数（+2軒）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

事業概要：島原市産品振興による地域活性化プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	長崎県島原市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	44,000千円 (16,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・島原市の地場産品の商品開発・E C活用によるブランディング及び情報発信の強化 ・営業強化のための研修・都市圏の物産展出展による販路拡大及び販売力の強化 ・I T活用や物流業者との連携による安定した物流の確保及び消費先の出口戦略強化		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 島原市の地場産品のブラッシュアップや、ブランディングを行い、都市圏を含め、全国に販路を拡大し、安定した生産と物流の確保に努め、島原市の魅力発信を続けることで、企画力と販売力に強い自立した地元の企業を育てる。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○「島原市産品ブランディング及び情報発信強化に関する事業」、 「島原市産品販路拡大及び販売力強化に関する事業」 ・新商品開発等（委託料）15,950千円 ○「安定した物流の確保と見える販路強化事業」 ・マーケティング調査等（委託料）550千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における農林水産業者の出荷額（+216,930千円） ②事業者が開発した新商品の数（+25商品） ③販路拡大が実現した事業者数（+25事業者） ④安定した物流の確保ができた事業者数（+18事業者）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.shimabara.lg.jp/page20745.html

事業概要：はみ出せ島原！地域を若者による地元の魅力化・活性化共創プロジェクト

継続

申請者	長崎県島原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	11,238千円 (3,069千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地元の高校生を含む若者や、UIターンを検討している若者の地元への就職を促す。 ・地元事業者において、高校生を含む若者からの提案を受け、労働環境を見直したり、交流を深めることで、地域の活性化と島原の魅力化へと繋げていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○島原市の地域魅力化・活性化共創推進事業 ・島原市内で高校生を含む若者等が、島原市の特色を活かしたイベント（主に市内事業者や地域交流のためのイベント等）の開催や企業と連携した新商品の開発等を行う等、島原市の地域の魅力を発掘しアウトプットするために係る経費を補助するもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地元高校生を含む若者等への補助金：3,069千円 ・補助金の流れ 島原市⇒既存の協議会⇒各高校						
主なKPI	①高校卒業後の地元への就職者数及び地元へのUターン者の就職者数（+140人） ②学生を含む若者（20代まで）が、島原市の魅力化・活性化のために開催したイベントの開催回数（+6回） ③若者（学生を含む20代まで）の島原市の地域におけるイベントへの参加者数（+150人） ④学生を含む若者（20代まで）が中心となり、地元事業所と開発した商品や新規事業の件数（+6件）					URL	https://www.city.shimabara.lg.jp/page20745.html

事業概要：『ロケ』は島原観光の新たな起爆剤！チーム島原で魅力発信プロジェクト

新規

申請者	長崎県島原市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	18,909千円 (4,561千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		
目的・効果	- 映像作品を通じた情報発信により、本市の魅力や認知度の向上、市民の地域に対する愛着を目指す。 「あの作品の舞台」「あの俳優が食べた」といった独自性が、競合地域との明確な差別化要因となり、新たな観光コンテンツや商品の開発などにつなげ、観光消費額の増加を目指す。 - 行政と市民、事業者と一体となった組織を構築し、撮影サポート力アップ、ロケ実績活用による地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「ロケツーリズム」の手法を用いて、島原市にある観光資源を活用し、映画やテレビ番組などの映像作品の撮影誘致・撮影サポートを行うことで、映像作品を通じた情報発信により本市の魅力や認知度の向上、市民の地域に対する愛着の高まりを目指す。 本事業の「ロケツーリズム」の推進に際しては、新たに行政と市民、市内事業者など地域一体となった持続可能な体制を確立し、ロケによる経済波及効果を高め、地域経済の拡大を目指す。					映像作品の大きさに関係なく 新しいロケをどんどん受入ることが重要！ ロケ誘致 ロケ 地域の変化 上映・放送 新しい作品を呼び込んで知名度を上げ、 新たなロケや観光客アップ 特産品が売れるまちを目指します！	
	【R8年度事業 経費内訳】 - ロケ誘致 - 市長トップセールス（旅費）272千円 - ロケ誘致に係る経費（委託料）638千円 - ロケ実績を活用した情報発信（印刷製本費）2,470千円 - ロケツーリズム体制づくりに係る経費 「しまばらロケ展」開催経費（消耗品費）50千円 - ロケツーリズム専門家招聘（委託料）462千円 - ロケツーリズム協議会加盟（負担金）550千円						
主なKPI	①観光消費額（+28億円） ②市内でのロケ件数（+13件） ③ロケ地訪問者数（+6,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shimabara.lg.jp/page20745.html

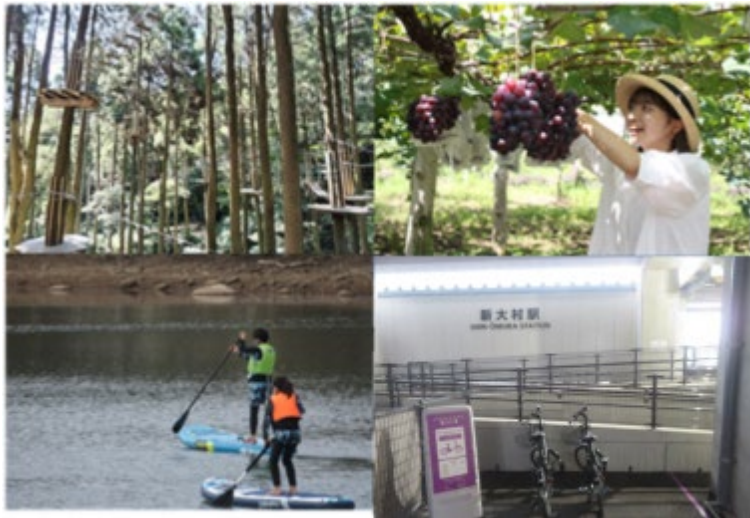
事業概要：多様なスポーツ施設を活かした「スポーツのまち諫早」プロジェクト

継続

申請者	長崎県諫早市					初回採択回	令和7年度第1回募集					
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	207,416千円 (65,436千円)					
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業							
目的・効果	多様なスポーツ施設を活用したスポーツ合宿誘致の促進及びミュージックとランニングを融合した新しいスポーツイベント「長崎ミュージックフェスマラソン」の実施など、スポーツによる観光誘客及び観光消費額の増加の取組を実施し、地域の活性化を図る。											
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スポーツツーリズム推進のため、競技環境向上のための施設の改修等、「いさはやスポーツコミッション」の運営、「長崎ミュージックフェスマラソン」の開催、観光消費の拡大につながる事業の支援を行う。					<table><tr><td>スポーツパークいさはや</td><td>本明川水上競技場</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>		スポーツパークいさはや	本明川水上競技場			
	スポーツパークいさはや	本明川水上競技場										
												
【R8年度事業 経費内訳】 ○いさはやスポーツコミッション運営事業 ・スポーツコミッション補助金 8,289千円 ○長崎ミュージックフェスマラソン実施事業 ・大会実施負担金 45,000千円 ○新たな魅力創出・情報発信事業 ・水産物産地化事業（補助金等） 3,039千円 ・まちづくりサポート事業 7,808千円 ○スポーツ施設改修事業 ・グラウンドバックネット改修工事設計業務（委託料） 1,300千円					<table><tr><td></td><td></td></tr></table>							
												
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+19.5億円） ②延べ観光客数（日帰り+宿泊）（+410,948人） ③諫早市コンベンション等開催助成金支給対象大会等参加人数（+5,418人） ④諫早市コンベンション等開催助成金支給団体数（+11団体） ⑤長崎ミュージックフェスマラソン参加人数（+2万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/soshiki/8/2196.html					

事業概要：自然を生かした新たな賑わい創出事業

旧制度（推進）

申請者	長崎県大村市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	369,003千円 (89,482千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・市内を訪れ、周遊することで滞在時間の延長を図る ・魅力向上、誘客プロモーションによる観光客数及び観光消費額の増を図る ・観光関連事業者や地元農林漁業事業者等の所得向上を図る ・自然に親しむことによる環境保全意識の向上を図る ・観光地としての大村市全体のイメージアップ、地元の食を楽しむ場、環境づくりを図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の最大の強みである交通の利便性や既存の観光資源を十分に生かすため、観光資源のブラッシュアップや情報発信などに取り組み、野岳湖公園エリアを滞在型観光の核として整備し、市内全域の周遊につなげ、地域経済の活性化を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・アクティビティ施設保守点検に係る経費 1,001千円 ・シェアサイクルの運営管理に係る経費 3,022千円 ・デジタルアプリの維持管理経費（委託料）5,610千円 ・体験型イベント開催委託料 27,756千円 ・本市の海や山を活かした「SEA TO SUMMIT」の開催委託料 10,710千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+10.7億円） ②観光客数（+317千人） ③延べ宿泊者数（+33千人） ④アウトドア・アクティビティ施設年間利用者（+9,557人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.omura.nagasaki.jp/kanri/shise/shokai/shisaku/kekaku/matihitoshigoto.html

事業概要：アドベンチャーハブ！～ソトアソビ 自然体験ONEパーク～ (野岳湖公園再整備)

新規

申請者	長崎県大村市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R14年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,586,692千円 (146,400千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ 多良岳自然公園の豊かな自然や体験価値を共有し、地場産業など多様な地域主体とアクティビティ関連事業者、行政が、地域づくりのプラットフォームとして情報発信や事業活動を行うなど「森と湖を舞台とした多様なアウトドアスポーツと地域交流を結びつけるハブとなる公園」を核とした地域づくりを展開し、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・ バンガローやバーベキュー施設、アクティビティ施設、ドッグラン施設、ペットと泊まれるテントサイトなどの環境整備を行い、地場産業などの多様な地域主体や関連事業者が地域資源の磨き上げや魅力の底上げを図る場を提供し、アウトドアスポーツツーリズムや地域交流の拠点となる公園を構築する。また、拠点化に伴う交通量の増加に対応し、併せて、周辺のアウトドアフィールドや地場産業へのアクセス性を高め、より一層の周遊を促すため、道路拡幅や自転車歩行者道路の整備を行う。加えて、地域づくりのアクターとなる企業の設備投資を軽減することで、地域への事業展開の意欲を高めるため、下水道の整備を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業 ・ 宿泊機能の強化やレクリエーション機能の拡充などに伴う市道整備 事業費 100,000千円 ・ 新たな利用者層の取り込みを図ると共に事業者の事業意欲を高めるための下水道整備 事業費 46,400千円						
主なKPI	①地域における観光消費額（+29億円） ②本市への観光客数（+1,290千人） ③野岳湖公園の利用者数（+10.8千人） ④野岳湖公園キャンプ場の宿泊者数（+6.6千人）					URL	(野岳湖公園の説明) https://www.city.omura.nagasaki.jp/kouhou/shise/shokai/shisetsu/koen/02.html (施策評価・効果検証) https://www.city.omura.nagasaki.jp/kanri/shise/shokai/shisaku/kekaku/matihitoshigoto.html

事業概要：アジフライ・FLYからはじまる持続可能な観光地域プロジェクト

新規

申請者	長崎県松浦市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	91,365千円 (30,455千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・SNS時代に合ったメディア展開による若年層への訴求を高め、メディアや旅行会社の活用による大都市圏、海外への情報発信によりアジフライの聖地の認知拡大を図るとともに松浦市への誘客を図る。 ・デジタルスタンプラリーやイベントの実施、観光情報を盛り込んだデジタルガイドブックの活用、松浦の魅力スポットを繋ぐツアーの造成などにより、観光周遊の導線づくりを行い、滞在時間と消費額の増加につなげる。 ・農水産物の生産基盤の整備を図るとともに、地域資源を活用した商品のブランド力を高め、認知度向上と販路拡大を図ることによって、収益性を確立し、儲かる農業、漁業経営にしていこうと、後継者育成、地域経済の持続的発展を支える仕組みを構築する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・メディアや旅行会社の活用による大都市圏、海外への情報発信、大都市圏でのイベント実施、誘客ツアーを実施する。 ・デジタルスタンプラリーやイベントの実施、観光情報を盛り込んだデジタルガイドブックの活用、松浦の魅力スポットを繋ぐツアーの造成を行う。 ・農水産物の生産基盤の整備を図るとともに、地域資源を活用した商品のブランド力を高め、認知度向上と販路拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・都市圏連携プロモーション事業 アジフライの聖地ガイドブック制作業務委託料：3,000千円 メディアタイアップイベント企画運営業務委託料：6,600千円 メディアタイアップ広報業務委託料：2,400千円 メディアタイアップツアー企画運営業務委託料：3,000千円 ・海外連携プロモーション事業 イベント企画運営業務委託料：2,200千円 ・アジフライの聖地情報デジタル化事業 デジタルスタンプラリー事業委託料548千円、ポスター・チラシ製作費：812千円、 広告料：110千円 ・産品戦略推進事業 産品販路拡大コンサルティング業務委託料：11,000千円 市が実施または出展する物産展、展示会に係る経費：785千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋26億4,610万円） ②観光客延べ数（＋5万4千人） ③新たな販路開拓数（＋30件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city-matsuura.jp/top/soshikikarasagasu/seisakukikakuka/kikakutokeikakari/1_2/1184.html

事業概要：地域のしごと創出加速プロジェクト

新規

申請者	長崎県松浦市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,000千円 (10,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市は、「住みたい・住み続けたいまち松浦」の実現に向けて、「しごとの創生」として、新たな就業の機会を創出し、若者にとって魅力のあるしごとを創ることを目指して、創業に対する支援に取り組み、地域経済の新たな担い手を戦略的に排出することで、地域全体の経済規模を拡大させる。 ・きめ細やかな新規創業のサポートによる 創業 → 地域の魅力化 → 新たな創業 ↓ ↓ 転出抑制 → 移住促進 → 社会増 のような好循環により人口増を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市は地域資源の掘り起こしや磨き上げにより、「アジフライの聖地」としてまちのイメージを市内外にアピールし、市民にも定着している。 好循環によりまちが持続的に発展していくためには、仕事づくりが重要である。 地域の資源や特性を活用した創造的でユニークな事業が数多く誕生し、それが一時的な活性化にとどまらないよう『まつうら創業応援プロジェクト』を連携して取り組み、新規雇用者の増につなげる。 【まつうら創業応援プロジェクト】 ○創業前後のサポート体制の不備 ⇒段階に応じたカリキュラムの提供とサポート体制の強化 ○SNSを活用した情報発信等、情報（魅力）発信力の弱さ ⇒創業フォローアップ、創業相談と事業承継相談をつなぐサポート、周知・PRの強化：サポート体制の充実						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・創業に必要な知識とスキルの学びの場を（委託料）1,500千円 ・創業初期にかかる費用面の支援（補助金）7,000千円 ・専門家等による創業後のフォローアップ支援（委託料）1,500千円						
主なKPI	①事業を通じた創業・起業による新規雇用者数（+9人） ②事業を通じた創業・起業件数（+24件） ③事業を通じた新規創業・起業者のフォローアップ件数（+24件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city-matsuura.jp/top/soshikikarasagasu/seisakukikakuka/kikakutokeikakari/1_2/1184.html

事業概要：【国境で学ぶ観光拠点】整備事業

旧制度（拠点）

申請者	長崎県対馬市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	455,388千円 (38,952千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的・効果	あそうベイパークに「学ぶ観光キャンパス」として学びと観光を結び付けた拠点施設を一体的に整備し、観光誘客に伴う消費額の拡大及び企業等との連携による循環型経済を促進していく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 あそうベイパークにおいて学びの観光拠点「学ぶ観光キャンパス」整備による観光情報等及び海洋プラスチック問題を発信するインフォメーション機能の整備、体験コンテンツの造成、地元製品の販売等により観光誘客による消費拡大とスタディーツアー等の滞在拠点として企業間連携を構築し企業版ふるさと納税等の財源確保を推進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・対州馬インフォメーションセンター建設工事 22,127千円 ・牧柵設置工事 16,825千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+250,000千円） ②観光客実数（+100,000人） ③利用者数（キャンプ施設）（+4,248人） ④対州馬曳き馬体験者数（+1,400人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方 策への反映が記載され ているURL https://www.city.tsushima.nagasaki.jp/gyousei/soshiki/shimadukuri/seisakukikakuka/notice/5554.html

事業概要：デジタル素材を活用した島の観光物産の魅力発信事業

旧制度（推進）

申請者	長崎県対馬市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	81,785千円 (8,236千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・デジタルガイドマップの整備による既存の観光コンテンツの情報発信を図る ・観光案内所の多言語化対応や窓口負担の軽減と観光客の満足度向上を図る ・市内事業社のデジタル化推進とデジタルコンテンツの普及啓発を図る ・AR・VRを活用した観光コンテンツの導入による満足度向上を図る（雨天時等の満足度向上と再訪意欲の喚起） ・受入態勢の整備及び魅力発信を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタルガイドマップを活用し、多言語対応を含めた情報発信の強化を継続し、誘客促進と満足度向上の向上に繋げる。 また、デジタルコンテンツ（ガイドマップ・VR）を活用した観光物産展を開催することで、対馬市の周知と誘客、及び対馬製品の販路拡大に繋げる。 【R8年度事業 経費内訳】 ○デジタルガイドマップ活用事業 デジタルガイドマップを活用した情報発信の促進 ・デジタルガイドマップ保守料 2,433千円 ○観光物産イベント開催事業 デジタルコンテンツ（マップ・VR）を活用した観光物産展 ・イベント開催（委託料） 5,803千円 デジタルガイドマップ  AR・VR 物産展		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+60,000円） ②観光客実数（+15,000人） ③ガイドマップのアクセス数（+2,500回） ④AR・VRコンテンツの視聴回数（+2,200回） URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.tsushima.nagasaki.jp/gyousei/soshiki/shimadukuri/seisakukikakuka/notice/5554.html		

事業概要：対馬オールインワンサービス構築事業

新規

申請者	長崎県対馬市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	23,679千円 (7,879千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・強い観光動機となる魅力的な観光コンテンツを創出し、観光客数の増加と観光消費額の向上を目指し地場産業の活性化に繋げる。 ・新たな二次交通サービスとしてガイドによる送迎サービスを体系化し、ガイドの高付加価値化による満足度の向上を目指す。 ・市民全体でおもてなしを図り、旅行者の知的好奇心の充足を図るとともに、「対馬の人に会いたい」を目的とした再訪客の増加を目指す。 ・デジタルツールを活用してコンテンツ・二次交通・ガイドを仲介し、一つのツールで対馬旅行を完結することができる体制の構築を目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 高い渡航費用を払ってもなお、「対馬だからこそ」の本質的な価値を求めて来島する強い観光動機となる観光コンテンツを創出する。ただし、対馬だからこそその史跡や自然が存在する場所は、700kmを超える広大な対馬の中でも特に、交通の便が悪い場所にあることから、コンテンツ・ガイド・移動手段の事業者間連携を促進し、デジタルツールの予約・決済サービスを活用することで、対馬観光をワンストップで楽しむ環境の構築を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・観光コンテンツ創出事業（委託料） 6,479千円 ・対馬の魅力再認識事業（委託料） 1,400千円						
主なKPI	①地域における観光消費額（+3,000万円） ②観光客実数（+30,000人） ③砲台跡コンテンツ利用者（+320人） ④二次交通コンテンツ利用者（+470人） ⑤ガイド人材の育成（+6人） ⑥デジタルマップを活用したコンテンツ等の予約件数（+100件）					URL	https://www.city.tsushima.nagasaki.jp/gyousei/soshiki/shimadukuri/seisakukikakuka/notice/5554.html

事業概要：2050年：世界最先端のサステナブルアイランド推進事業

新規

申請者	長崎県対馬市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	38,999千円 (16,619千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 対馬の環境・社会課題の解決を軸とした産学官民の「共創」を通じて、対馬発の持続可能な産業創出モデルを構築する。 - 社会課題解決型企業の誘致や島内での創業、事業拡大を推進し、雇用創出による人口減少の抑制・緩和やしまづくりの担い手育成につなげていく。 - 企業・大学との連携による実践的な学びと伴走支援を通じ、地域課題解決と事業化を担う人材を対馬内外に育成・確保する。 - 産学官民連携による、取組成果の発信や、企業・大学・事業者間のマッチングを行うことで、地場産品やサービスの新たな価値の可視化、販路開拓、共同事業化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 これまでの大学・企業連携の取組を発展的に統合し、産学官民が連携する人材育成・産業創出のための事業を展開する。その指針となる「サステナブルアイランド構想」基本プランを策定する。また、企業や大学の知見を生かした実践的な人材育成プログラムを開講するとともに、研究・実証から事業化までの伴走支援や成果発信、多様な主体の交流・マッチングのためのイベントを開催し、持続可能な産業の担い手となるイノベーション人材の育成・確保を図る。					 大阪・関西万博BLUE OCEAN DOME「対馬ウィーク」の開催を通じて得られた企業・大学等との人的ネットワークを未来共創へ活かす	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 「サステナブルアイランド構想」基本プラン策定経費 7,636千円 - サステナブルアイランド人材育成事業 8,783千円 - 有識者会議の開催経費 200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じた島内創業・事業承継件数（+1件） ②本事業への大学等関係者のレポート参加者数（+30人） ③本事業への企業等関係者のレポート参加者数（+30人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tsushima.nagasaki.jp/gyousei/soshiki/shimadukuri/seisakukikakuka/notice/5554.html

事業概要： 壱岐市SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション） 推進事業

旧制度（推進）

申請者	長崎県壱岐市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	128,184千円 (31,664千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・DXによる基幹産業の持続可能性の向上と、共助・共創ポイントによる循環経済の実現。 ・リフレクションを取り入れた人材育成による地域創生人材及び関係人口の創出。 ・エンゲージメントパートナー企業をはじめとした企業等との共創による地域課題解決体制の構築。 ・医療DX、オンデマンド交通等による誰もが安心して暮らし続けることができる社会の実現。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「誰もが自分らしく幸せに暮らし続けることができる社会」の実現に向け、暮らし・歴史・文化を継承し、社会の変化に適応しながら、100年後もイキイキと生活できる島であるために、市民「対話」を軸に、島内外様々なステークホルダーと「共創」し、イノベーションが起こり続ける仕組みを構築することで、多子若齢化の好循環を創出する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 【1】壱岐なサーキュラーエコノミーの実現 ・R7年度で完了等 【2】主体的な市民の育成と共創の推進 リフレクションを取り入れた探究の深化、イベント開催、情報発信 ・高校地域連携支援＜委託料＞ 9,570千円 ・地域共創支援＜委託料＞ 12,320千円 【3】高齢者の幸福化 ・遠隔診療等の医療DXの推進＜委託料＞ 5,500千円 【4】プロジェクトマネジメント費 4,274千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域の人口・世帯数（+78人） ②DX等新技術導入件数（+6件） ③リフレクションイベント等参加者数（+750人） ④e市民コミュニティ登録者数（+250人）	URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.iki.nagasaki.jp/soshiki/seisaku_kikakuka/machizukuri/sogo_senryaku/6290.html

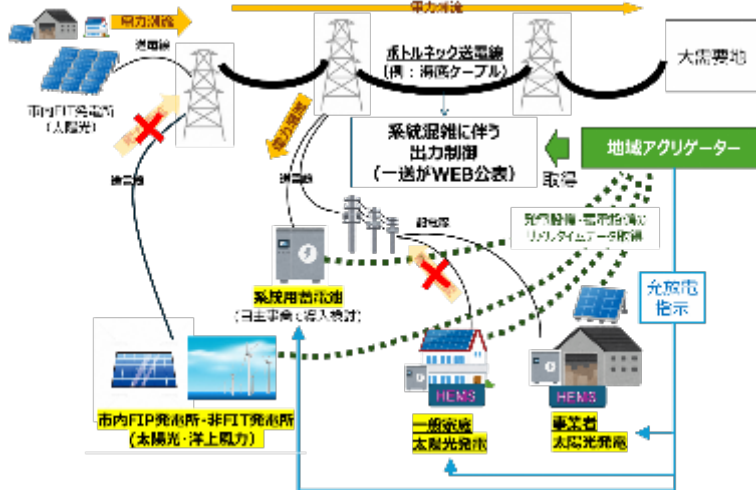
事業概要：新たな客層の獲得による交流人口拡大プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	長崎県五島市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	63,814千円 (7,750千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	世界文化遺産登録から5年が経ち、少しずつその誘客効果も薄れていくなか、五島市に吹く「観光誘客への追い風」を最大限に活かした観光コンテンツの造成や受け入れ体制の構築等を進め、「国内外から新たな客層」を呼び込み、交流人口の拡大を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・市内のインバウンド受入環境を整備するため、多言語化を推進するよう働きかける。 ・本市でのロケーションを誘致し、戦略的なメディア露出を図る。 【R8年度事業 経費内訳】 ●インバウンド誘客に向けた多言語化整備促進事業 積極的にインバウンド受入に取り組む地元事業者の多言語化に要する経費に対して補助する。 1,100千円 ●ロケーション撮影誘致支援事業 本市において映画・ドラマ・CM等のロケーション撮影を行う団体の撮影にかかる経費に対して補助する。 6,000千円 世界遺産・釣り・食等 新たな客層 インバウンド 富裕層 ジオパークに興味 メディアを観て 興味 五島市 受入体制の整備 コンテンツ作り メディア露出 価値の底上げ		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+481,513.2千円） ②本市への外国人観光客数（+483人） ③本市の誘致により、ロケーション撮影を行った団体数（+3団体） ④鑑瀬ビジターセンターの入館者数（+11,291人） URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.goto.nagasaki.jp/li/shisei/020/010/010/010/index.html		

事業概要：脱炭素推進・地方創生プロジェクト事業

継続

申請者	長崎県五島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	110,200千円 (44,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 再生可能エネルギー発電量の変動を補完し、安定供給を目指すために蓄電池運用技術の開発を支援する - 再エネ普及促進と電力の効率的な利用を目的に、HEMSの導入を通じて、エネルギー消費の「見える化」を図り、新たな再エネメニューの普及を促進、HEMS導入が市民のエネルギー利用行動に与える影響を調査・分析する - ゼロカーボンシティ関連の専門知識を持つ人材育成が不可欠であるため効果的な人材育成を支援する						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、再生可能エネルギーを地産地消する体制を構築することで、地域経済の活性化を図るものである。 - 再生可能エネルギーの課題である出力制御の解決のため系統用蓄電池の運用技術を開発する。 - HEMSを導入し、電力の見える化を図ることで、市民が再生可能エネルギー電力を賢く使うことを促進し、家庭や地域単位でのエネルギーコスト削減を実現する。 - ゼロカーボンシティ関連の人材を育成する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○系統用蓄電池運用技術開発事業 ・蓄電池運用技術開発 (補助金) 3,750千円 ○HEMS導入・再エネ電力促進事業 ・HEMS導入・再エネ電力促進・影響調査・分析 (委託費) 14,000千円 ○ゼロカーボンシティ関連人材育成事業 ・人材育成経費 (補助金) 15,000千円 【ハード事業経費】 ○系統用蓄電池運用技術開発事業 ・蓄電池設置経費 (補助金) 11,250千円						
主なKPI	①地域における新規雇用者数 (+18人) ②域外エネルギー代金流出抑制額 (+98,104千円) ③ゼロカーボンシティ人材育成数 (+30人) ④民生部門電力消費CO2排出量 (▲46,920t-CO2)					URL	https://www.city.goto.nagasaki.jp/li/shisei/020/010/010/010/index.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：多様化する旅行需要に対応した観光誘客プロジェクト

継続

申請者	長崎県五島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	182,623千円 (48,461千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	多彩な地域資源を活かし、付加価値の高いコンテンツを整備することにより、国内外からの観光入込客数や延べ宿泊日数が増加することで、観光消費額の増加、事業者所得の向上、雇用拡大に繋がり、持続可能な地域づくりの実現が図られる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・五島の地域資源を活用した着地型旅行商品の造成や、五島ゆかりの映画やドラマ等を活用したロケ地を活用したツーリズムの推進を行い、誘客につなげる。 ・インバウンド誘客に向けた取り組みとして、海外旅行博への出展や海外旅行会社への営業を行う。 ・国内外からの大型客船の誘致を行うほか、国内外の観光展や物産展への参加やPRイベントを実施し、五島市のPRを行うことで誘客を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ①多彩な地域資源を活用した観光コンテンツの整備費用 【委託費】12,000千円 ②ロケ地を活用したツーリズムの推進費用 【委託費】5,522千円 ③インバウンド誘客に向けた取り組み費用 【委託費】24,940千円 ④大型客船の誘致費用 【補助金】999千円 ⑤五島列島全国PR展開事業費 【負担金】5,000千円						
主なKPI	①地域における観光消費額 (+21億円) ②観光入込客数 (+25,933人) ③延べ宿泊数 (+34,084人泊) ④外国人観光客数 (+636人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.goto.nagasaki.jp/li/shisei/020/010/010/010/index.html

事業概要：ターゲット拡大及び情報発信の充実によるUIターン促進プロジェクト

継続

申請者	長崎県五島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	42,877千円 (14,210千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・情報発信のターゲット拡大及び情報収集や支援制度活用におけるハードルの解消、定住支援の実施により、40歳未満のUIターン者数の確保を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・移住サイトを観光サイトへ統合し、観光サイトユーザーが移住コンテンツへ流入する環境を整える。 ・子育て世代のさらなる移住と、定住促進につなげるため子育て・教育環境コンテンツを制作する。 ・移住希望者を対象に、観光と生活インフラ見学、保育園幼稚園・学校・子育て支援施設見学を組み合わせた移住下見ツアーを実施し、移住後の不安を和らげる。					R7-R9年度 課題1 バイの拡大 情報発信のマーケットが小さい ○観光・移住サイトの統合 ○観光部門・移住部門の施策を連携させたコンテンツを制作 ○データ分析に基づくコンテンツの新設・編集 移住を検討し得る層を取りこぼしている ○子育て、教育環境コンテンツの新設 ○移住者交流スポットコンテンツの新設 ○再来訪や移住を誘惑させる接点づくり 課題2 情報収集・支援制度活用 のハードル解消 移住情報の収集・利用に労力がかかる ○各部門・民間企業等と連携した情報発信 ※支援制度コンテンツの編集・改善、支援制度の電子申請化検討 ○空き家バンクの運営改善 ○移住下見ツアーの実施 課題3 定住支援の実施 地域との交流や人脈作りの支援がない ○定住支援の実施 ○定住支援情報の視覚化 ○ガイドブックフライヤーの改訂	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○観光・移住サイト統合事業 ・ホームページ作成（委託料）5,254千円 ○空き家バンク運営改善事業 ・空き家バンク運営業務（委託料）8,053千円 ・フライヤー印刷費（印刷製本費）161千円 ○移住下見ツアー事業 465千円 ○定住支援 ・ガイドブック及びフライヤー改訂事業（印刷製本費）164千円						
主なKPI	①地域へのUIターン者数（+73人） ②40歳未満のUIターン者の割合（+13%） ③移住相談件数（+1,028件） ④移住者の5年間定着率（+0.4%）					URL	https://www.city.goto.nagasaki.jp/li/shisei/020/010/010/010/index.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

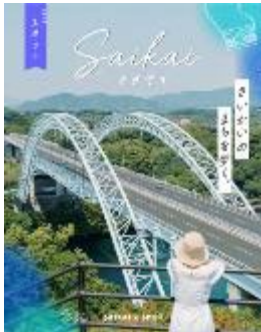
事業概要：再エネとデジタルを活用した地方創生イノベーション推進事業

継続

申請者	長崎県西海市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	60,000千円 (20,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域内の再生可能エネルギーや地域資源を活用し、デジタル技術によるソフトウェア開発などの多様な事業展開、スタートアップ支援を推進し、新たな産業の創出と若者の域外流出を防ぎ、持続可能な地域社会を実現する。 ・地域資源を活かしたエネルギー供給体制の強化や事業支援を通じ、災害に強い安全・安心な地域社会を構築するとともに、地域経済の活性化と地域住民の生活の質の向上に貢献する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・再生可能エネルギーや地域資源を活用し、デジタル技術を駆使したソフトウェア開発やスタートアップ支援を行うことで、新産業創出と地域経済の活性化を進め、若者の定着や災害に強い持続可能な地域社会の実現を目指す。					再エネとデジタルを活用した地方創生イノベーション推進事業	
	【R8年度事業 経費内訳】(年間20,000千円) ・事業推進コーディネート業務委託：15,000千円(委託料) (内訳) 支援費5,000千円(起業支援、技術支援等) 事業推進費8,000千円(課題整理、普及、販路拡大支等) 評価・報告費2,000千円(進捗管理、レポート等) ・ソフト購入補助金：5,000千円(補助金) (内訳) 2,500千円×2本(再エネ活用ソフト購入)						
主なKPI	①新規雇用者数(再エネやデジタル関連の新規創業による雇用者含む)(+10人) ②新規スタートアップ事業者数(+3事業所) ③再エネ等活用事業実施数(+6事業) ④ソフトウェア開発数(+6本) ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.saikai.nagasaki.jp/soshiki/seisaku/3/3/4/jinkoubijon/13145.html

事業概要：ハウステンボス宿泊客に向けた地域資源を活かした観光コンテンツの
造成と地域の魅力発信事業

新規

申請者	長崎県西海市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	56,292千円 (21,814千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本市の自然あふれる風景や豊かな食材、また、それらを活用した体験型メニューを造成することで地域資源に付加価値を付け、それらをフックにハウステンボスを訪れる観光客を本市に誘客することとし、地域の活性化や観光産業の強化による雇用の促進と所得の向上を図っていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・全国に向けたメディア・イベント・SNSを活用したプロモーション活動 （市の知名度の向上のためSNSやブログによる市内観光情報発信／市の知名度向上のための映像コンテンツの制作と配信／市内誘客のための雑誌やテレビを活用したさいかい井フェア等の市内イベント情報発信） ・全国に向けた地域資源を活かした体験型コンテンツの造成～提供 （体験コンテンツ提供のためのインストラクターを育成するための講習会開催／自然を生かした体験メニュー造成のための試作／観光客誘客のための造成した体験メニューのプロモーション活動／旅行者への自然体験メニューセールス活動／造成したメニューを検証するためのモニターツアーの実施）					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・メディアやイベントを活用した魅力発信 12,663千円 ・体験型観光推進 9,151千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（＋6億円） ②体験型コンテンツの提供数（＋13,300件） ③さいかい井フェアの売り上げ額（＋3百万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.saikai.nagasaki.jp/soshiki/seisaku/3/3/4/jinkoubijon/6598.html

事業概要：新たな賑わいの創出と地域ぐるみの子育て支援を実現する 大島複合施設整備事業

新規

申請者	長崎県西海市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	300,000千円 (300,000千円)
事業分野	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業		
目的・効果	・若者や子育て世代に必要な機能を集約し、生活利便性を高めることで、居住満足度の向上を図り定住促進を支援する。 ・多世代が日常的に交流できる拠点を整備し、地域のつながりを強化することで、地域コミュニティの再生と活性化を図る。 ・市外への消費や交流の流出を防ぎ、市内で需要を取り込むことにより、地域経済の循環を促進し、地元経済の活性化を図る。 ・就業と子育ての両立が可能な環境を整備し、地域に適した働き方を提供することで、人材確保と定住人口の増加につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 統廃合により廃校となった旧大島中学校跡地を活用し、体育館、図書館、市役所総合支所などが集積する周辺環境と連携した官民連携の複合型交流拠点を整備する。若者や子育て世代が求める機能を備えることで、就業地・居住地としての利便性や魅力を高め、子育て環境の満足度向上、産業人材の確保、職住近接による定住人口の増加、市内外からの交流促進、市内経済循環の創出を図る。施設全体は大島造船所が整備し、民間主導で飲食、健康増進、屋内児童遊具施設を、市は公共部分である子育て支援・多世代交流施設を整備、区分所有し、運営する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 子育て支援・交流施設築工事253,764千円 ・外構工事 26,230千円 ・子育て支援施設として必要な備品整備 20,006千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①施設利用による交流人口の拡大（+136,650人） ②地域への移住定住者数（+180人） ③市民の子育て環境に対する満足度（+30%） ④複合施設における新規雇用者数（+30人） ⑤施設を利用した地域住民等の交流事業件数（+5件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.saikai.nagasaki.jp/soshiki/seisaku/3/3/4/jinkoubijon/13145.html

事業概要：観光・スポーツ・文化等地域資源の掘り起こしによる町のにぎわい創出事業

新規

申請者	長崎県雲仙市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	230,118千円 (75,718千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 温泉依存型観光からの転換を図り、地域DMOを核として自然、食、一次産業等の多様な地域資源を活用した本市ならではの 高付加価値なコンテンツ造成等を行い、体験型、滞在型観光を推進する。あわせて、戦略的な情報発信により認知度と来訪意欲を高め、観光客数及び観光消費額の拡大を図ることで、「選ばれる観光地」としてのブランド力向上を目指す。 - 歴史やスポーツを契機とした新たな観光客層を掘り起こし、通年型の安定した誘客を推進し、観光の裾野拡大を図ることで、観光客数及び観光消費額の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・地域DMOが実施する地域資源の掘り起こし及び地域資源を活用したコンテンツ造成、誘客に向けたプロモーションに対する活動を推進する。 ・スポーツを目的とした新たな観光客層をターゲットに観光客数拡大を図るため、大規模なスポーツイベントの開催や、スポーツ合宿等誘致を推進する。 ・千々石ミゲルなど歴史文化を目的とした誘客促進に向けた地元の機運醸成やガイド育成を図るため、地域人材の知識向上と担い手育成を行うとともに、近隣市と連携した知見の共有とネットワークを形成し、広域的な誘客促進につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域DMOが行う本市ならではのコンテンツ造成や誘客に向けたプロモーション等を支援（補助金）45,050千円 ・県内初となる近隣市と連携した大規模なフルマラソン大会の開催（負担金）15,000千円 ・スポーツ合宿等の誘致（補助金）11,150千円 ・ガイド育成等機運醸成を図り、歴史文化を目的とした観光客の受入体制整備（報償費、委託費）4,518千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+21億円） ②観光客延べ数（+120千人） ③大会・イベント等参加者数（+487人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：南島原市原城跡世界遺産センター整備事業

継続

申請者	長崎県南島原市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,351,535千円 (109,482千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・世界遺産の構成資産である原城跡のガイダンス施設を整備し、世界遺産の知名度を活かして集客力を高め、市の特産品の販売所や観光案内などの機能も備えることで観光振興や物産振興を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 世界遺産センターにおいて、歴史的な資料の高精細デジタル展示や世界遺産現地の理解を促すためのデジタル展示を中心として、世界遺産の価値を発信する展示施設として活用し、市の特産品の物産販売所や市内外の他の観光資源の情報も発信する観光案内なども備えることで、集客を図り、観光振興につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費50,000千円、設計等委託費5,000千円 ○設備整備・用地造成等の内容 【外構工事】 外構工事費54,482千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①世界遺産センターの売上高（+221,917千円） ②観光客増加に伴う経済波及効果（+1,545,947千円） ③世界遺産センターにおける新規雇用者数（+35人） ④史跡原城跡の見学者数（+103,607人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

事業概要： 崎野自然公園から広がる交流人口拡大・周遊促進プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	長崎県時津町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	94,566千円 (22,022千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・崎野自然公園を核として町内各観光施設を周遊できる観光ルートの作成 ・大村湾を活用した周遊観光のPRによる観光者数・地域における観光消費額の増加 ・長崎市・佐世保市に流れている観光客の獲得による観光客数の増加 ・崎野自然公園栈橋整備や管理棟改修による魅力向上と宿泊者の増加		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 崎野自然公園を核とした情報発信を官と民が連携しながら実施し、時津町の活性化を図り、町内の観光消費額の拡大につなげるもの。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・情報発信及び近隣市町も巻き込んだ観光プロモーションの推進事業業務委託（12,000千円） ・町内事業者との連携による観光ルートの開発や企業紹介のためのサイト構築事業業務委託（10,022千円）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+145,701千円） ②崎野自然公園コテージ宿泊者数（+694人） ③観光客実数（+41,280人） ④町内周遊者による整備栈橋利用者数（+3,500人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.town.togitsu.nagasaki.jp/soshikikarasagasu/senryaku/gyoseijoho/hoshin_keikaku_jigyo/1/9220.html

事業概要：現代版時津街道を軸とした歩く観光プロジェクト

継続

申請者	長崎県時津町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	202,281千円 (61,360千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	交流人口の拡大を実現するために、まずはアクセス強化を出発点とする。長崎空港で降りた人たちが、現代の時津街道である高速船を利用して、時津に入る動線を強化する。時津港からは、観光スポットを歩いてまわり、時津の文化や歴史を肌で感じてもらい、その途中で買い物や飲食を楽しんでもらう。そして、「時津再始動 進化し続けるまち」をスローガンに、いま時津で暮らす人も、これから訪れる人も、誰もがワクワクする日本一のまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現代の時津街道である時津街道の活性化を図るため、モニターツアーの実施やシティブロモーションを実施する。また、町内の周遊性を高めるためのデジタルイラストマップの活用やウォーキングイベントを実施することで時津町の魅力を肌で感じてもらう仕組みを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・アクセス強化事業及び地元飲食店活性化事業 5,000千円 ・シティブロモーションの強化 11,771千円 ・ぶらり観光推進のためのデジタルイラストマップ制作業務及び利活用促進にかかる人件費（PRコーディネーター及び補助員） 10,469千円 ・観光ルートを活用したウォーキングイベント実施業務 5,500千円 ○ハード事業 ・観光ルート整備業務 28,620千円						
主なKPI	①時津町の観光消費額（+163,000千円） ②時津町の観光客数（+46,000人） ③（仮称）とぎつ恵みの感謝祭の参加者数（+15,000人） ④デジタルマップ閲覧回数（+15,000回） ⑤移住相談窓口を介した移住者数（+21人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年10月公開予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：東彼杵町持続可能な陸上養殖事業

新規

申請者	長崎県東彼杵町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	40,776千円 (40,776千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 本事業は、東彼杵町が公設で整備するバナメイエビ陸上養殖施設を活用し、民間事業者による実証実験と事業化を支援することで、新たな水産業の創出と地域産業の高度化を図ることを目的とする。あわせて、観光分野との連携による町の魅力向上を目指す。 - 陸上養殖技術の確立と事業者育成による新産業の芽出し、雇用創出や町内経済の活性化が期待される。また、安定出荷による町のブランド力向上や、見学・交流等を通じた交流人口の増加につながる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、東彼杵町がバナメイエビ陸上養殖施設を公設で整備し、行政財産として管理した上で、公募により選定した民間事業者の使用許可を行い、施設の運営・維持管理および養殖・出荷・販売を担わせるものである。施設はスタートアップ等による実証実験の場として活用しつつ、一定規模の出荷を行い、事業化を見据えた運営を行う。売上は原則として事業者へ帰属させ、町は行政財産使用料等により成果の一部還元を受ける仕組みとする。これにより、民間の創意工夫を最大限に引き出しながら、持続可能な新産業の創出と地域経済の活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・県内及び町内飲食店等メニュー開発及び普及キャンペーン事業（委託料）500千円 ○拠点整備事業 ・陸上養殖ハウス建築工事費及び陸上養殖設備一式40,276千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町全体の水産業の出荷額（＋5百万円） ②バナメイエビの年間出荷尾数（＋216,000尾） ③支援対象事業にかかる雇用者数（＋8人） ④県内・町内の飲食店等での取扱件数（＋36箇所） ⑤バナメイエビ歩留まり率（＋60％） ⑥エビ釣り体験などの観光イベント実施回数（＋6回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：移住定住・関係人口創出事業

旧制度（推進）

申請者	長崎県東彼杵郡川棚町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	58,119千円 (15,889千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・移住の推進と町の魅力の情報発信を強化する ・町の活力の維持と移住促進のため関係人口制度の創出と、関係人口数の拡大を図る ・移住コンセプトの「起業・スタートアップを応援する町」を推進し、働く場の確保と、移住定住における他市町との差別化を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○「移住・起業ワンストップ窓口」を設置し、移住相談や町が推進する小商いを共に推進する移住支援ポータルサイトの運営を実施。町の紹介、生活情報、子育て情報、イベント情報等を発信。 ○関係人口として「かわたなファンクラブ」を運用する。観光客等を関係人口として囲い込み、関係人口の拡大を図る。 ○移住コンセプトを推進するため、商店街を中心とした賑わいの創出や起業を支援		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・移住・起業ワンストップ窓口運営（補助金）4,820千円 ・デジタルマーケティング事業（委託料）3,600千円 ・創業、空き店舗活用活用支援（補助金）4,560千円 ・後継者育成、創業セミナー等（補助金）1,530千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+12人） ②関係人口数（+3,600人） ③移住・起業ワンストップ窓口を通じた創業者数（+5者）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.kawatana.jp/cat05/c5-03/post_734/

事業概要：地域内循環農業推進事業

新規

申請者	長崎県波佐見町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	47,000千円 (16,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地場産業である窯業の長年の課題であった廃石膏型の再利用を推進するための肥料「波佐見の恵み」の普及を農業分野で図る。 ・「波佐見の恵み」で生産された農産物を、地元飲食店・食品卸問屋と連携することによって、農産物の有利販売に繋げ農業所得の向上を目指す。 ・この地域内で循環するサスティナブルな取り組み地位内循環農業を新たな観光資源としてPRし、地域内経済の活性化を図っていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 波佐見町は400年の歴史を持つ波佐見焼（陶磁器）の産地であり、近年波佐見焼や観光スポット西の原の人気とともに観光客も増加している。一方、窯業界では陶磁器の製造工程で出てくる石膏型の廃棄処分が長年の産地の課題であった。この問題を解決するため、廃石膏型を利用し肥料登録が取れた「波佐見の恵み」を利用し生産された農産物を、地元飲食店・食品卸問屋と連携し、食や加工品につなげ、農家の所得向上に繋げるとともに、産地課題の克服と、このサスティナブルな取り組みをPRすることによる新たな観光の魅力を発信していくもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域内循環農業推進委託費（委託費） 16,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①「波佐見の恵み」で生産された農産物販売額（+16,168千円） ②農業法人の従業員新規雇用数（+2名） ③観光消費額（+5%） ④どぶろく製造者数（+3人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月末公表予定